京城日報

廿六日夕刊

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

◎解散と六年度豫算
●前年度豫算を施行せざるべからざるに至れり

二十五日衆議院の解散と共に大正六年度豫算は全部不成立に歸し其の結果として政府は憲法第七十一條により前年度豫算を施行せざるべからざるに至れり（東京特電）

◎總選擧期は四月

衆議院解散の結果總選擧を行ふべきが法規上來る四月二十五日迄に行はざるべからざるを以て多分四月十五日頃に擧行することゝなるべく二十六日の閣議に於て其の時期を決する由（東京特電）

◎交通借款と上院反對

交通銀行借款に關し二十五日參議院に於て附議する處あり交通總長之に就き說明する處ありしが反對旺んにして總長も持て餘し氣味なり（北京特電）

◎露國陸相の聲明
羅馬尼戰線の形勢益々有利なりと

ペトログラード、ガイア、ガゼツト紙は露國陸軍大臣ベラエフ將軍訪問記事を掲載せりベラエフ陸相は聲明して曰く羅馬尼戰線の形勢は益々有利となり羅國戰線に於ける敵軍の集中せる大軍の攻勢は阻止せられ同時に羅軍の損失は著々として補充せられつゝあり聯合軍の協同一致は愈鞏固となり英佛兩國は露國が缺乏を感じつゝある軍需品を供せんが爲め更らに大なる努力を爲しつゝあり陸相は最後に曰く戰爭の終結期を豫想するは不可能なり然れども吾人は聯合軍の全勝を信じて疑はず（露都電報）

◎關東都督更迭か

第一師團長陸軍中將本郷房太郎氏は關東都督に轉任する事に決せりと傳ふ（東京電報）

◎長島氏の脫黨

政友會代議士長島鷲太郎氏は政友會を脫黨せり（東京電報）

豫算不成立と朝鮮
▲鐵道事業に及ぼす影響

衆議院の解散により大正六年度豫算の不成立が朝鮮鐵道局の事業に如何なる影響を及ぼすべきかに付當局の談を聞くに

▲鐵道營業上 に於ける經費豫算の大正六年度計上額は八百九十五萬千餘圓にて之れを大正五年度實行豫算に比すれば百二十六萬四千餘圓の增加となり居れり而して此の增加額は鐵道作業上欠ぐ可らざるものなれど豫算不成立となりし以上小額なる前年度豫算踏襲となるを以て來るべき臨時議會に於て追加豫算の協贊を得其の實行をなし得る迄暫らく不便を忍ばざる可らず

▲建設改良費 建設改良費たる咸鏡線工事の繼續施設及び京釜線の改良車輛の製作等は其の費用六年度に於て九百四十萬圓を計上し居れるが此分は既に議會の協贊を經既定年割額となり居れるを以て何等の影響なかるべく而して土木費の款項內に於て釜山第二棧橋の完成に伴ひ海陸連絡設備を必要とする爲め大正六年度より二箇年繼續事業として新に三十四萬圓の工事を施行するの計畫中六年度豫算に計上せられ居る廿萬圓の新事業は當然繰延るの外なし

▲追加豫算 從って鐵道局として臨時議會に追加豫算として提出したき希望を有するは(一)前述六年度作業費の不足百二十六萬四千餘圓(二)釜山第二棧橋の連絡設備費初年度分廿萬圓(三)大正五年度に於ける鮮鐵貨客輸送輻輳し連帶取扱ひに係る賃金の支拂ひに不足を來したる分約四十萬圓合計百八十六萬餘圓なるも追加豫算編成方針の確定を見ざる今日とて果して右額の要求をなし得るや否やは未だ確言し難き譯なり

▲土木事業に及ぼす影響

不成立豫算中新規事業の最も多きは土木局所管に屬する諸事業にして之れが經費は前年度に比し百數十萬圓の增加を示し居たるに徵するも豫算の不成立は最も著しき影響あり然れども之れ等の新規事業は概ね從來の繼續事業に對する擴張若くは振り替へ等に依る新事業なれば其の打擊は比較的甚大ならざるものゝ如し、今項を分ちて之を概說せんに左の如し

▲一期治道工事 工費總額七百五十萬圓にして六年度の年割額は一百五十萬圓なりしが此の年割額中には第一期治道費殘額八十三萬圓を有せるを以て此の殘額のみは運用の途あり

▲仁川築港追加 大正六年度以降九年度に亙り百七十五萬圓の總經費を計上したるが四十四年度より起工せる繼續事業は大正七年度に於て完成の筈なれば本工事にも亦た此の年割額は存在の筈なり

▲京城水道施設 六年度に於て十三萬五千圓を計上せるが這は全部消滅す可し

▲治水々利調査 六年度に於て九萬七千圓の經費を計上したり前項同樣消滅す可し

▲朝鮮神社造營 第一期工費として五十萬圓を計上し六年度に於ては六萬五千圓の年割額を見たるが之れ亦た全部消滅す可し

▲其他主要事業 其の他釜山築港工事、京城市區改正、鎭海市街經營總督府廳舍新營等の主要工事は何れも從來の繼續事業なるを以て差したる影響なかる可く、尙ほ前記項目中消滅す可き新事業中に在りても必須缺ぐ可からざるものに在りては追加豫算に計上の餘地なきにあらざれば結局前年度豫算踏襲とはいへ之れが爲め事業に激甚の打擊はあらざる可く兎に角相當の方途を講じ之れが施設に遺憾なきを見る可し

▲遞信局豫算

遞信局の大正六年度豫算は何等目星しき新事業なく總額三百九十萬七千圓にして五年度豫算に比し僅々十二三萬圓の增加に過ぎず從って前年度豫算踏襲は概括的に之れを云ふ時は其の影響頗る輕微なるものゝ如く唯だ各方面の事業擴張による定員增加を行ひ得ざる位なりと

▲土地調査局

臨時土地調査費は既に大正七年度末に於ける事業終了迄の經費支出を議會の協贊を得居れると大正六年度の要求額は百卅四萬五千圓に過ぎず之れを前年の經費總額に比すれば二百四十三萬九千圓の大減少となり居れるに付從って豫算の不成立の影響は何等蒙らず既定の計畫により事業を進行せしめ得べしと

◎實行豫算
急遽編成を見む

衆議院の解散に伴ひ政府の財政は前年度豫算踏襲の止むなきに至れる結果總督府に於ても急遽實行豫算を編成して應急施設に遺憾なきを期するの要あるは勿論なるが同豫算は大藏省に對して種々の打合はせを爲さゞる可からざるのみならず不成立豫算面に削除されたる前年度豫算の復舊振り當てに付きては閣議を經て實行追加となす等其の協議交涉は極めて複雜なるを以て之れが確定を見るまでには多少の日子を要するなる可し然れども荒井度支部長官、河內山司計課長等總督府の當路者は恰も滯京中なれば中央政府に對する交涉には種々の便あり、遠からず圓滿の協定を見適當の實行豫算を得て施政上遺漏の點なからしむ可く、又た當然消滅す可き新規事業計畫中に於ても必須缺ぐ可からざるものに在りては更に追加豫算を編成して次期議會に提出を見る可し

◎京城下水延期

京城府の大工事なる下水溝開設計畫は大正六年度より向ふ四箇年間の繼續事業として其工費百五十萬圓を計上し先づ第一期工事として七十萬圓を豫算し其內大部分を國庫並に地方費中より補助を仰ぐこととなり居たるも既報の如く議會の解散となり豫算の不成立となりたるをもつて自然向ふ一年間の延期を餘儀なくせらるゝに至るべしと

◎銀票相場標準

取引所の急激の發展　朝鮮銀行大連支店調査によれば近時の大連金融市場にて注目に値するは貨幣取引所に於ける銀票取引の急激なる發展なり鈔業公所の銀票取引は現物及び定期と共に本年六月七月の頃より著しく取引を增加し特に其定期に於て甚しきものあり今試みに一昨年八月以降の定期取引高を見るに

年月	金額	年月	金額
四年八月	四八,〇〇〇	同五月	[illegible]
同九月	[illegible]	同六月	[illegible]
同十月	[illegible]	同七月	[illegible]
同十一月	[illegible]	同八月	[illegible]
同十二月	[illegible]	同九月	[illegible]
五年一月	二,〇六八,〇〇〇	同十月	[illegible]
同二月	一,一三五,〇〇〇	同十一月	[illegible]
同三月	[illegible]	同十二月	[illegible]
同四月	七,八九〇,〇〇〇		

乃ち本年四月迄は百萬圓臺なりしも五月に至りて二千二百萬圓に激增し十二月四千三百萬圓十一月は五千三百萬圓の巨額に達し前年十一月の百萬圓餘に比すれば實に五十三倍の激增にして滿洲に於る銀票相場の標準となるの勢ひなり今其所以を尋ぬるに特產物の取引盛んなるに資金の貸出し增加したる結果自然特產物の決濟資金たる銀票の買附をなすの必要ありて其の取引盛んならざるを得ざるに銀相場の昂騰以來銀票相場の變動甚しくその間投機取引をなす者を生じたるに依る由

◎定例長官會議

二十六日は定例長官會議日なるより長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎入澤部長學校視察

京畿道の入澤第一部長は前日來の視察に引續き二十六日の午前左の各學校を巡視せり

女子技藝、南大門、貞洞、西大門學校、女子普通、齋洞、校洞、漢水

【仁川】

▲黃海道と檢米　黃海道諸富半三、半尾藤郎の兩技手は二三日前仁川出張米穀檢查場及び商業會議所等を歷訪の上歸任したるが同氏等の談に依れば黃海道の米產額は近來著しく增大し鐵道沿線は勿論鎭南浦仁川等の貿易港に移出せらるゝ著生產額の大半を占めつゝ有るも本道は未だ米穀檢查を施行せられざる爲め此れが改良上及び取引上に幾多の不便あるを以て當局は本令施行の緊要なる事を察し米穀檢查令發布以來研究しつゝ有りしが何分本道は海陸兩方面共に搬出口多ければ檢查所も最少限度と見積りても八九箇所は設置せざる可らざるを以て經費の關係上檢查制度實施を躊躇し居れり然れ共最早今日にては本道產米も有力の地位を占め同令施行は自然の要求となれるを以て或は明年度より實施さるゝに至るならんが他道とは自ら事情を異にし居るを以て本道檢米實行は多大の困難伴ふ可く當局は目下愼重審議研究中なりと云ふ▲穀物協會新年宴會　仁川穀物協會にては二十八日午後六時より鮮樓に於て新年宴會を催す由▲外國人布敎狀況　最近調査に依れば仁川に於ける外國人布敎狀況は美監理敎は敎會堂二十講義所一四を有し敎徒は朝鮮人千八百三十九名にして宣敎師は米人三名なり英國聖公會は敎會堂一、講義所一、宣敎師一、敎徒二百六名を有し天主敎は敎會堂三、講義所一、宣敎師佛人四、敎徒千百八十二名あり合計二十四敎會堂八宣敎師三千二百二十七名の敎徒を有せりと

◎有松法制局長官の失態

廿五日衆議院解散の刹那議長席の周圍は大混亂を極めたるが有松法制局長官は如何に狼狽したるにや畏れ多くも詔勅を議長の前に差出す際之を靴の上に落せり元來詔勅は紫の帛紗に包みて捧持し議長に恭しく手渡しする筈なるに有松長官は帛紗にも包まずしてポケットより取り出し其れを畏れ多くも靴の上に落したるなり（東京特電）

【開城】

▲小作人總會　開城郡國有地小作人組合に於ては來る二十七日定期總會を開き種々の案件を議する筈なり▲陰曆年末年始　陰曆年末に於ける鮮人側一般金融は頗る順調にして取引も最も圓滑に行はれたり而して舊正月は天氣晴朗にして今日を晴れと着飾りたる子女の嬉戲する樣にも太平の象あり▲碧瀾渡渡船困難　碧瀾渡は土城驛より延安海州方面に通ずる要路なるか近年同地方鑛山事業の發展と共に通行客激增したるが此頃來の嚴寒にて渡船困難危險となり殆んど命掛にて數時間を要する有樣にて一般非常に困難を感じ殊に郵便遞送夫の如きも此渡船の爲に時間に遲るゝ事一再に止らず閉口し居れり

【平壤】

▲驛長會議と調查　鐵道局は二月上旬鮮鐵全線の主要驛々長會議を召集する筈なるが平壤鎭南浦兩驛長も出席すべく昨今種々の調査を取急ぎつゝあり▲昨年市場賣上商　平壤府現在の公認市場は株式會社平壤魚市場（壽町）平壤市場（星州里）內川面家畜市場（新陽里）の三市場を算するに過ぎざるが昨五年中の總賣上高を見るに魚市場は開市三百六十二日にて水產物賣上十萬二千五百八十八圓平壤市場は開市七十三日、織物賣上一萬三千五十圓其他の雜品一萬五千七百八十六圓計二萬八千八百三十六圓家畜市場は開市七十三日畜類賣上八萬四千百八十九圓等にして之れを前年即ち四年中に對比すれば何れも著しき賣上高の增加を示したるが這は更めて云ふまでもなく昨年中は一般市況恢復し取分け鮮人側の購買力豐富なるに因れり尙ほ家畜市場は平壤畜產組合の經營にて他は市場規則第一條第一號の旨意に基く市場なり

【咸興】

▲咸興內地人戶口　最近咸興に於ける內地人戶口數は六百七十六戶男一千三百三十八人女一千二百十七人計二千五百五十五人にして之れを前年に比する時は五十六戶二百七十九人の增加を示せり▲組合議員改選　咸興學校組合は來る四月十四日を期し議員の總選擧を行ふ筈なるが近來移住者の增加に伴れ選擧有權者五百有餘名の多きに上り議員資格者の如きも多數新顏の現るに至り居れば選擧競爭は相當烈しかるべく豫想され居れり▲咸炭輕鐵延長　咸興炭鑛株式會社にては今回新式の機械類及び十輛用機關車を購入し事業の發展を企て居れるが更に近々加平面長豐里採炭場に至る十六哩の輕鐵延長線布設工事は認可次第着手して來る夏頃までに全部竣成せしむる豫定なりと

【元山】

▲元山內地人戶口　最近元山に於ける內地人戶口數は一千七百七十二戶男三千四百四十八人女三千三百三十五人計六千七百七十五人にして之れを前年同期に比すれば百十六戶三百五十八人の減少を示せり▲商議と豫算　元山商業會議所大正六年度豫算案は此程に至り漸く其の編成を終り來る二十六日評議員會に於て附議せらるゝ筈なるが內容は本年度の豫算と大差なく歲出入總高九千七百十四圓餘を計上し居れり▲國語と鮮人　元山警察署管內に於ける鮮人にして日本語を解する者の數を見るに總人口一萬四千五百廿三名の內普通會話に差支なき程度のもの男三百名女四十九名にして稍解し得るもの男八百十五名女八十八名に達せり

□議會解散と平壤
―支局一記者―

○其前途如何を危まれたる第三十八議會も終に二十五日解散となり解散は相率いて六年度豫算の不成立を來し新事業の計畫一切は爰に挫折の運命を餘儀なくされしが其結果は朝鮮に於ても恐らくは平壤程大損害を蒙りたるは非ざるべし

○即ち中央政府の六年度豫算陸軍省所管臨時歲出に朝鮮砲兵工廠支廠設置三百萬圓（二箇年繼續事業にて四百萬）圓を計上しあり其工廠設置の位地は我平壤に內定し居るやに聞及びし所なり又總督府豫算には平壤鑛業所經費增加及び擴張費二百九十萬圓を六年度以降三個年に亙る繼續事業として年割當額百廿五萬五千九百六十三圓を計上し從來の無煙炭產額十餘萬噸を三十萬噸に增大する計畫あり

○加之府の經營に係る平壤排水及び道路工事總費額三十一萬六千八百圓に對し其半額即ち十五萬八千四百圓を六年度より五個年に亙り補助すべく本年度割當額三萬千六百八十圓を計上せるあり仍ほ大同江鐵橋架設費として治道費に七十萬圓を計上し六年度より三個年の繼續事業として起工の計畫等あるが何れも議會解散の副產物として俄然悉く挫折を見るに至れり

○工廠設置問題の如き如何に平壤市民の血を沸かしたる處なるが大同江架橋の如き十數年來の懸案にして漸く六年度に於て國費解決を見んとするもの之れが爲に平壤發展の前途を阻止せらるゝ事鮮少ならず排水及び道路改良工事の如きは之れ新事業と云ふものゝ一種の繼續事業に過ぎざれば之れが中止は蓋し言を須ゐざる處なれば解散は豫期の事實とは云へ今更の如く還然として市民の意氣銷沈は理りと云ふべく其他問題は兎に角排水及び道路改良工事補助は前年度來の繼續事業として何れかの方策によりて復活の餘地あるべきを知る也（廿五日夜）

【釜山】

▲郷津檢事正赴任期　京城地方法院に轉任を命ぜられたる釜山地方法院郷津檢事正は本月三十日赴任の筈に付官民有志者發起にて廿七日午後七時より鳴門に於て送別會を開催すべし▲水產重役當選　釜山水產會社重役會に於て互選の結果取締役社長に大池忠助氏重任當選す▲壹岐丸就航　本月十日入渠修繕中なりし關釜連絡船壹岐丸は廿四日出渠就航に就き新羅丸は當分貨物連絡專用船として隔日午前釜山入港午後出港の筈なれば貨物專用船御獄丸と相互每日貨物船の著發することゝなれり▲棧橋會社總會　釜山棧橋會社は廿二日株主總會を商工俱樂部內に開き大正五年度の營業成績報告及同決算報告を爲したるに純益金は二千三百六十一圓七十七錢なるも既報の如く當期は利益配當を行はず全部積立となし同棧橋の改築費用に充用する筈なるが取締役會長及び取締役監査役は全部重任に決したり

【清州】

▲警務部長出發期　忠北警務部長井中佐の出發期は來月十日前後なるべしと云ふ地方民は同氏多年の功勞を記念せん爲め記念品贈呈の計畫をなしつゝあり▲柳長官歸任　道長官會議列席のため過日來上京中なりし柳忠北道長官は歸途郷里牙山に立寄り二十五日正午著歸任したり▲事務官來清　忠南道小松事務官は事務視察のため十五日忠北道廳に來り本町明治館に投宿す

【光州】

▲光州農銀總會　光州農工銀行にては二十七日第二十一季決算報告の爲め株主總會を開く筈なるが今季の配當は年八朱なりと▲訓示傳達式　宮木本道長官は二十三日道及び所屬官署職員一同を會議室に集め道長官會議に於ける總督の訓示指示及總督新任當府の訓示を讀し尙巨細に之を說明したり▲避難港急設の要　本道桃子島は沖合漁業者唯一の避難港なるに不拘港內何等防波の設備もなく漁船は安定を保つ能はざるより漁業者は等しく避難港として防波堤の急設を希望し道廳に申請せし結果道廳よりも總督府へ上申し先般技術官の調査となりたるも未だ何等の施設を見ざるより一般漁業者は一日も早く其速成を希望しつゝあり▲棉花共同販賣所閉期　本道各郡の棉花共同販賣所は每年一月末を以て閉鎖せるが本年は出廻期遲れたる上降雪の爲め出廻を妨げられたる等の理由より一月末の閉鎖は多分二月上旬迄延期さるべしと▲室谷院長來光　京城衞戍病院長室谷軍醫正は二十四日夜來光二十五日衞戍分院視察二十六日出發の筈

人事消息

▲芥川正氏（釜山日報社長）廿六日朝出京
▲古屋誠盛氏（咸南洪原警務署長）同上
▲木村林次郎氏（三菱社員）廿七日朝出京の筈
▲申應熙氏（咸南道長官）二十六日朝南大門發列車にて咸興に歸任せり

彼等は海の賭博師だ

苦心慘憺の不正漁業者征伐

慶尚南道警務部長 前田憲兵大佐談

朝鮮の不正漁業は從來吾輩の管內にだけ限られて居つたが近來は慶北の管內にまで及んで盛んに出沒して居るとの事である而し其の根據地は依然釜山牧の島附近に在る事は確かである之等不正の漁業團剿滅に就ては一方ならぬ骨折を爲たものであつて嚴重なる現場の取締は元より

■前科犯人嫌疑者の名簿から不正漁業の方法彼等の用ひる符牒、合言葉、又は彼等の連絡系統などまですつかり調べ上げて一冊と爲し印刷して置く位であるが却々之れを絕滅せしめると云ふ事は困難の事である是れからは海面の取締を從來よりも一層に嚴重にする事は云ふまでもないが火藥工事用ダイナマイトの賣買授受から使用先きまでを嚴密に取締り此の方面から不正漁業者を自滅せしめる計畫であるが何分釜山附近には內地又は支那間島等よりダイナマイトの密輸入が絕ねず行はれて居るから此の取締が容易の事でない鑛山及び工事用などのダイナマイトも鑛山師と不正漁業者とが結託して

■例令へば十個買取つたダイナマイトの內五個だけ使用して五個を不正漁業者に讓渡すと云ふ樣なことに成つて居るが此の使用高を明瞭にすることは困難である鑛山師の方では一個四五圓で買つた火藥が二十圓にも時には五六十圓にも成るのだから勢ひ不正の密賣を爲ると云ふ事に成る、不正漁業者はそんな不當の高價を拂つてダイナマイトを買入れても儲けは充分ある彼等は魚道を群つて廻游して來る鯖鰯等の群に投ずるから一發にして、何千何萬と云ふ魚を漁る事が能きる、一度此の不正漁業を行つた者にはモウ釣や網などは馬鹿々々しくて爲れないと云ふ事だ

■吾輩なども騎兵隊に居つた頃水中爆破をやつて知つて居るが其の附近の魚類は悉く死んで終ふから之れを廻游して來る魚群の中に投げ込まれた日には堪つたものではない不正漁業の爲めに直接害を蒙るものは正當の漁業者である折角魚道にいろ〳〵の網を張つて待つて居る處を途中で不正漁業者がダイナマイトで魚群を攪亂して終ふから魚群は漁場に入る前に散亂して終つて多大の資本と勞力とを入れてある漁場には魚類が來ないといふ有樣に成るから漁業保護上から不正漁業者を剿滅する事は急務であると云はなければならぬ

▲廿日間、湯にも入らずに防疫

田舍の破屋に松の枝で藥液撒布

吾輩は昨年虎列拉には隨分困難させられたが又お蔭で將來の爲め非常に有益な經驗を爲た、先づ困難した方から述べると昨年八月初め釜山開港檢疫所內に虎列拉患者が發生した

▽之れが朝鮮半島に虎列拉病が上陸して來た第一步であつたが幸ひ檢疫所の虎疫は一人切りで他に傳染せず大手の關ぎ堅固なる內に搦手の仁川から破られた此の向きならばと考へて居る間に對馬を襲ふた虎列拉は慶南沿海面一圓に濃厚なる病毒を泛べて方魚津を始め沿海岸到る處に患者が續發し遂に一千餘名の患者を出し十二月下旬に成つて漸く其の跡を絕つたが一時は

▽病毒が沿岸を取圍んで何處から何時陸上に上つて來るか知れないそれに漁業者が多いから甚だしい危險を感じた、幸ひ病毒は陸地深く這入らなかつたが邊陬の漁村に患者が發生するのだから防疫官の勞苦は一通りでなく或場所など携帶の糧食に辛じて飢を忍び二十日間も入浴する事も能きず松の枝で消毒藥を撒布したと云ふやうな邊鄙の處が少くなかつた

▽相手は衞生思想の零である朝鮮人で其の住宅は非常に陋穢である上に病毒は海面一圓に瀰つて居る狀態にあつて病毒を殆んど陸上に上げなかつたと云ふ事に就て吾輩は前に云ふ好經驗を爲た朝鮮に未だ患者の發生せざる前吾輩は大阪長崎其他の虎疫流行地を視察して來たが內地の防疫施設は

▽朝鮮の其れに比べると殆んど至れり盡せるものが有る而かも其の豫防成績は朝鮮の方が遙かに優秀であつたのは事實であるが之れは一つに官民一致の結果であると思ふ內地では民間と防疫官の衝突は至る處で行はれ新聞は盛んに防疫上の失態を攻擊すると云ふ有樣であるが朝鮮にはそれが無かつた

▽官民はよく一致して一意に此役の來襲を豫防し發生の際には協力して其撲滅に努力した現に方魚津の如きは一漁村に過ぎないが防疫費として二千圓も醵出した上住民は漁業を抛つて一意病毒の消滅に盡力した事など內地では到底見られぬ處で今回同地の衞生組合の

▽表彰されたのも之れが爲めである吾輩は之れに由つて得た經驗は即ち惡疫流行は國難の際と同じく上下一致して之れに當れば敢て恐るゝに足らぬといふ事だ

●混合列車脫線

三浪津驛にて

二十五日午後七時四十分釜山發大田行混合列車が十四分の延著にて三浪津著荷客の取扱を了し三等車を解放すべく南側第二側線に進行の際ポイントの關係にて三等車二十四號の二軸脫線其復舊に二時間を要せり一時乘客も混雜せしが死傷者なかりき

●便利になつた牡丹臺

▼淸流壁上城壁の防禦工事完成

平壤牡丹臺淸流壁上城壁の石塊又は岩壁の破片が淸流壁に沿ひたる道路上に墜落し屢々危險を感ずる事がある、本年に入りては去る八日十二日の兩回重量十六貫から十二貫迄位の石塊が四十幾個も墜ち、昨年は二名の負傷者を出し更に

▲船一隻を破損せしめる抔の事故もあつたが當局者は昨秋來是等の危險を除去する爲めに同壁上部の古城壁の一部を崩壞せしめ完全なる部分は其儘に保存すべく去る十七日から防禦工事に著手した何しろ同壁岩は長さ百八十間高さ十數丈に達し而かも詩文其他の大文字を彫刻しあり右顧大同江の淸流ありて探勝者は何れも此

▲雄大なる岩壁を仰視して步みを止める牡丹臺探勝の第一步所謂玄關口である、然るに昨秋の如きは四十貫に餘る大石塊が墜落した事もあり現に數日前探勝客を乘せた自動車が通過したる數分間後約十貫目の石塊數個が唸りを生じて墜ちた事もあつた、今回の防禦工事著手と共に此危險が一掃されたる譯で更に乙密臺より

▲牡丹臺に下る坂道は勾配最も急にして最近の如き降雪の場合は辷り轉ぶといふ危險があつて探勝客が不服を唱へて居たが是も降雪の場合は人夫を督して雪除けを實行する事になつたから淸流壁の防禦工事と相俟つて危險と故障が一掃される事となり二十日には工事も完成を告げたので

▲安神して探勝する事が出來る、近頃の雪景色は又格別の趣きがある(平壤)

●寒中行軍

咸南對抗演習

步兵第七十四聯隊に屬する咸興、元山、北靑の各部隊は大村旅團長統裁の下に來る二月五日より八日までの四日間に亘り極寒を冐して冬季對抗演習の壯擧を決行すべく目下頻りに準備中なるが其の計畫內容を聞くに咸興隊三個中隊の內第四中隊は定平を經て永興に行軍し六日文川より來れる元山隊と合し咸興隊は七日馬山場より旺場を過ぎ八日宣德に到り咸興平野を橫ぎりて歸隊し、元山隊は七日鎭興場口より文川を經て八日歸隊し七、八の兩中隊は五日林道元より來れる北靑隊と合し七日退潮に近り成關嶺を越ねて洪原に落し平浦より回して八日歸隊し、北靑隊は新浦を經て同日歸隊すべく之れに先ちて咸南三十七旅團よりは二月三日東行軍統裁の爲め來咸の筈なる大村旅團長は咸興第四中隊を引率し永興に到り永興よりは元山隊を率ゐて元山に出で歸團する豫定なるが今回の演習行程は元山北靑間五十餘里に及べりと(元山)

●特別急行列車衝突

山陽線富田停車場附近にて

二十六日朝山陽線富田驛(三田尻德山間)附近にて下關著九時三十八分の特別急行列車と貨物列車と衝突し線路破壞し爲めに延著し十二時半著せり(門司特電)

●浮棧橋沈みて乘客多數溺死せんとす

去る廿四日夜十一時廿分釜山南濱渡船場の浮棧橋沈沒して牧島行きの渡船乘客約廿名危く溺死せんとせし椿事あり元來南濱渡船場棧橋は目下

▲半ば腐朽し多數の乘客通行する際などはゆら〳〵と左右に動搖し加ふるに用材腐朽し居り屢々小破損の個所ありて危險極まりなく往々乘客中にも此れに足を踏違へたる者も少なからず渡船營業者はその都度小修理をのみ加へ荏苒今日に及びたるものにて當夜は恰かも牧島洲岬は舊正月二日に相當し漁業者或は雇人等は業を休み釜山管內の芝居や活動見物に赴く者多く其の當時(午後十一時廿分頃)も牧島行きの活動芝居歸りの男女

▲約百五十名ばかり渡船を待ち合せ居りて今しも同島通ひの渡船來りたるを以て待合の乘客は我先きにと雪崩を打つて棧橋に向ひ其の過半數は渡船の著き居る浮棧橋にヒシめき合ひ居る際該浮棧橋は其の重量に堪へ兼ね後半部小破損の個所に浸水して呀つと云間もなく後部傾斜し沈沒せるにぞ上方部に居たる乘客は幸じて逃れたるも後方部に乘りたる乘客約廿名は棧橋と共に沈沒し

▲幸ひ干潮時なりしかば腰まで沒り其中三名は不幸にして浪に浚はれ危く溺死せんとせるも多數の乘後れたる乘客の爲に全部救助されたり濡れ鼠の如くなり搗てゝ昨今は零度以下五度といふ寒氣なれば何れも寒さに打ち顫ひ船にて牧島へ歸りたり(釜山)

日なたぼつこ 四温の日

◆吹雪の夜

氷を踏んで步哨勤務

氷點下三十度の寒天に=羅南衞兵生活

國境第一線方面に於る步哨勤務の苦痛は冬期就中豆滿江の結氷と共に愈々至嚴となり何時馬賊等の來襲を蒙らんやも計り難きより間斷なく闇を透して看視を怠るわけには行かぬ羅南の衞兵は總て步兵第七十三聯隊から派遣して居るが下士司令の下に大抵

◆十四五名宛に兵器支廠と支庫及風紀衞兵の三個所であるが其內風紀衞兵から旅團司令部と彈藥庫に步哨を派して居る步哨勤務の最も困難な場所とされて居るのは兵器廠の火藥庫で山腹にある土手の上だが川際になつて居る爲に寒氣殊に強く

◆寒い晩などは零下三十度以下を示す事が間々ある其上北風と西風を受けるので好晴の日にあつても多少の風速を感ずるが烈風の夜の如きは一時間の勤務時間が到底堪へ切れないと云ふそれでも至嚴なる軍規は位置を離るゝ事を許さないのである

◆十間程の間を終始連續して居るがその樣にでもなさなければ直ちに凍傷の御見舞を受ける深更の一時二時頃になれば巡察將校が足を忍ばせて巡察に來る佩劍の音でもカツチヤリと仕樣ものなら腹の底まで沁み渡る斯うして國家の干城は

◆風雪と寒氣を征伏して勤務に服して居るのである然も初年兵は未だ服務するに至らぬので二年兵のみでやつて居るが多い時は一週に二度も出る事がある一日二十四時間の衞兵勤務に服するのだが一個所に三名宛當てられてあるから一名八時間の割で二時間隔きに自分の番が來る事になつて居る(羅南)

●炭酸瓦斯中毒

京城峴底洞金九業妻金性女(二)は二十二日(舊大晦日)夜お正月の煮物をなす爲め溫突內にて焜爐に多量の炭火を焚き天麩羅其他を調理したる儘室內の換氣をなさず其儘密閉したる溫突內に就寢したる爲め遂に炭酸瓦斯に中毒して死亡し居るを翌朝勤務先より歸宅したる夫が發見して大騷ぎとなり鍾路署より係官出張檢視せしが全く中毒死亡と判明し屍體は夫へ引渡せり

●蓆包みの屍體

仁川柳町路傍に年齡五十歲位の鮮人男が凍死し居たるを廿五日通行人が發見し此旨警察署に訴へ出たるを以て署官出張檢視したるが死體は蓆筵に包まれ居りし點より察すれば多分人家附近に於て行倒れたるを陰曆正月の事とて不吉を感じ發見者が密かに蓆包となして同所に投棄したる者らしと死體は仁川府に引渡し假埋葬に付す

灯ともしころ

▲一頃豐永博士の暖爐が問題になつたが其の後嫖通が見て廻ると鈴木穆氏の邸と和田ドクトルの診察室のがきれいな相な▲なんでも鈴木氏のは熱くなつた時濡雜巾で拭いた上夏もそのまゝにして拭き通すといふやり方▲和田ドクトルのは開業以來八年間カラ雜巾で火を入れる前に拭くといふ主義ドチラもピカ〳〵に輝いて居る相な▲京城で最新式の自動車といへば李堈公殿下の灰色のあれで値段は四千五百圓といふ噂だが全速力を出すと一時間に二十五哩も飛ぶ▲自動車といへば昨年入京したアメリカの鋼鐵王ゲリー氏などは自分自身で運轉する相な▲それで東京でも三井家に二つも三つも自動車があつてそれに一々運轉手が居るのを見て金持の三井家の財產はどれ丈けあるかと訊いた相な▲其で三井の全財產はコレだと云ふと『たゞの其ツばかりで那麼贅澤をするか』と笑つた相な

●運送船の衝突

●連絡船上陸客 廿三日午後九時釜山入港さくら丸 一二等客

一等(二名) 岡田榮、米人一名 二等(廿一名) 新村信太郎、同枝子、同秋子、……

入港二名 二等(十六名) 中島正吉、同まつ、……宮入武雄、宮本信太郎、南來弟之助、……武井次郎、三浦……郎、安住……阪安次郎、村木……郎、相澤きん、同すみ子、朴……、李炳憲、……

課題及募集規定

■募集規程 ◇紙は端書又は同形の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名職業の事◇贈賞

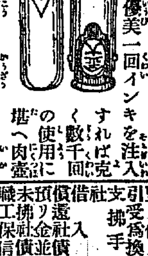
天氣 晴れ

日出 七時二十……分 日沒 五時五十……分

●最も進步せる認印

美術金屬製自働回轉式 特價八十五錢

今回東京芝區愛宕下町(電芝九六〇)金大商店にて發賣せる金屬製自働回轉式認印は圖の如く總ニッケル製にして體裁頗る優美一回インキを注入すれば優に數千回の使用に堪へ肉壺の不要內部は精巧せる構造により如何程烈しく捺印するもよく水平を保ち且つ携帶至便にして破損の憂ひ更になく然も價格低廉なれば目下諸官省商店を初め一般盛に使用されつゝあり此際賣物廣告の爲め一千個限り前記の破格値段にて特賣す希望者はハガキに姓名字體を記し申込ば引換小包(送料實費)にて急送する由

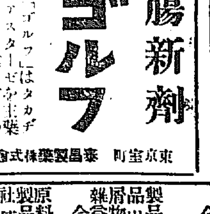


朝鮮鑛業要覽 定價一部一圓廿錢

附圖 朝鮮地質鑛產圖

京城日報社代理部、大阪屋號書店

胃腸新劑 ゴルフ



「ゴルフ」はタカヂアスターゼを主藥とせる健胃消化の新製劑なり

東京室町 藥品製藥株式會社

第七拾九期貸借對照表

負債ノ部

一 諸預リ金	壹貳、六貳四、〇八貳、六〇九
一 他店ヨリ借	貳、〇五六、七六壹、七貳〇
一 仕拂承認	壹四、四〇〇、〇〇〇
一 借入金及コールマネー	五五貳、〇〇〇、〇〇〇
一 未拂利息及未經過割引料	參五、〇七七、六四〇
一 資本金	參、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一 諸積立金	八壹〇、〇〇〇、〇〇〇
一 前期繰越金及當期利益金	五貳壹、九壹四、七七〇
合計	壹九、六壹四、貳參六、七參九

資產ノ部

一 諸貸付金	九、四〇壹、六五貳、參七〇
一 割引手形及荷付爲替手形	五壹九、八四五、貳四〇
一 他店へ貸	壹、四參六、貳六〇、五參〇
一 支拂承諾見返	壹四、四〇〇、〇〇〇
一 預ケ金	貳八八、貳七〇、九五〇
一 諸公債證書	壹、壹五八、〇七五、貳參〇
一 社債券及株券	貳壹貳、六壹七、〇參〇
一 雜勘定	壹七四、貳貳〇
一 營業用土地建物	四八九、五參五、五五〇
一 所有動產不動產	貳〇〇、九九四、四四〇
一 現金有高	壹、貳貳〇、四壹壹、壹七九
計	壹九、六壹四、貳參六、七參九

利益勘定

一 當期純益金	壹七〇、〇貳〇、壹壹九
一 前期繰越金	參五壹、八九四、六五壹
合計	五貳壹、九壹四、七七〇

內

一 積立金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇
一 賞與金	壹七、〇〇〇、〇〇〇
一 配當金(年九分)	壹參五、〇〇〇、〇〇〇
一 後期繰越	參四九、九壹四、七七〇

右之通候也

長崎縣長崎市榮町百七番戶第壹號

株式會社 十八銀行

頭取 永見寬二
副頭取 松田英三
取締役 高橋守太郎
同 野口孝太郎
同 足立瀧二郎
同 松田精一

前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也

監査役 高見和平
同 藤瀨宗一郎
同 山田又三郎

第五十回營業報告

貸借對照表

(負債之部)

資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	[illegible]
支拂未濟配當金	[illegible]
買代金	[illegible]
賣代金	[illegible]
引受爲換手形	[illegible]
支拂手形	[illegible]
社債	[illegible]
借入金	[illegible]
償還社債並未拂利子	[illegible]
預リ金	[illegible]
未拂金	[illegible]
職工保信金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

(資產之部)

拂込未濟資本金	[illegible]
借方	[illegible]
工場原料品製品	[illegible]
仕掛品	[illegible]
積送品	[illegible]
銀行當座預金	[illegible]
預ケ金	[illegible]
假出金	[illegible]
地所	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
什器	[illegible]
有價證券	[illegible]
工場準備品	[illegible]
工場增設	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算

收入之部	
製品及半製品出來高	[illegible]
屑物出來高	[illegible]
雜益及株券書換料	[illegible]
合計	[illegible]
支出之部	
原料品消費	[illegible]
製品及半製品	[illegible]
社債利子	[illegible]
諸稅	[illegible]
營業費	[illegible]
工場費	[illegible]
合計	[illegible]
差引	[illegible]
內	
建物機械什器減價償却	[illegible]
要具減價償却	[illegible]
再差引當期純益金	[illegible]
合 前期繰越金	[illegible]
積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
配當金	[illegible]
但舊株一株ニ付	[illegible]
特別配當	[illegible]
但新株一株ニ付	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通候也

大正五年十一月二十五日

內外綿株式會社

取締役 中野太右衞門
同 川邨利兵衞
同 阿部房次郎
同 武居綾藏
同 天木繁二郎
監査役 浮田桂造
同 平田虎之助

萬病感應丸

目まい 立くらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥

登錄商標

本舖 大阪 正野法橋玄三 販賣店は全國有名藥店

……附近にて汽船成功丸と衝突し成功丸は沈没し乘組員三名は危篤に陷り六名は行衛不明となれり（大阪電話）

……郎、小川愛次郎、柳井正、阿部鐵之助、前田利一同しげ、小澤堂義、三等（十八名）
廿四日午前九時三十分釜山入港……
廿四日午後十時四十分釜山入港……
九一二等客 一等（九名）黑澤二郎、上村荘之助、米人四名 一等（八名）……二等（廿五名）……

▲南北道、黃海道、京畿道、忠清南道の沿岸の警報を解……

何うして救療すべきか

‖恐るべき阿片吸食者、モルヒネ、コカイン注射中毒者‖

▼注射の効果 ▼隈部京畿道警務部長談▲

注射を始めて以後の年數の最も永いのは二十二年に亙るものもあつたが寧ろ最近數年間に著しく增して居る樣である

■是れは近年 醫師、醫生、藥種商等の增加交通機關の發達等の原因に依り藥品の濫賣、醫生の注射濫用及び花柳界弊風の增長等に關係を有するものであらうと思はれる其の他は注射の動機が

■色情に原因 するものでそれが五十六人あつた是れは近年一部の朝鮮人が放肆惰弱に流れ徒らに放蕩淫逸を貪り花柳の巷に出入し此弊風に感染した結果である又注射を

■始めた當時 と救療所へ收容した當時との資産の比較を調べて見たが注射を始めた當時には相當の資産を持つて居たが其後漸次財産を消耗し後には全く無資産となり

■乞食同樣の 境遇に墮落したものが八十五人あつた又中毒者がモルヒネをどの位注射して居つたかを調べて見た處が一日〇、〇五乃至〇、五迄位のものが最も多かつたが甚しきは三、五注射をして居つた者があつたこれは段々注射の度を累ねて

■中毒の度が 進むに從つて少しの分量では利かなくなり此の如き多量の注射をしても平氣で居るのである之を治療するには警察醫も隨分困難を感じたが結局全く注射せずして

■堪へ得る樣 になり全治退所したのである以上の如く救療事業は先づ良好なる成績を收めた譯であるが當時恰もコレラ流行時期となりこれが豫防其他の爲め遂に事務繁劇となり警察官も救療所に詰切らせる

■餘裕がない 樣になつたから約二箇月で收容所を閉鎖したが此弊風は未だ容易に根絶するに至らぬから時期を見て更に收容救療を開始するかも知れぬが兎に角

■斯かる惡習 あるものは容赦なく檢擧處分を加へ絶滅を期する積りである（了）

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▼一口噺「時事」

○警官「貴樣は何故牛を盜んだか」牛泥棒「道長官の眞似をして道に落ちてた繩を拾つて蹈りましたら其の先に牛がついてたまでの事でヘイ」（一等） 京城 守 郎

▲讀者『印刷會社員が四千圓の大穴を明けた相だ』 穴掘り『へー大した穴だナア一派さはどの位有つたロー』 京城 晩 翠 亭

▲某『三萬圓の金塊を七年間も床下に埋めていたとよ』 與太『ヨツポド利子が附いてたらう』 龍山 西村 秀雄

▲親父新聞を見て『スチンソン嬢が名古屋で墜落して命拾ひをしたな』 凸坊『何處に命が落ちてたの』 公州 齋藤 勝司

▲寒さしのぎは冷水をかぶるのがよいと云ふ話を聞て早速やつて見た與太『ナンダ炬燵の中へもぐる方が餘程ぬくい』 龍山 岡本小草子

▲課題及募集規定は欄外にあり

◆外套は何うする ◆事務所で人を訪ねる時◆

◆家の中 で人を訪ねる時外套は帽子の次に脱ぐものになつてゐる萬一脱がずに事務所へでも入つて往かうものなら『乾度何だ失敬な』といふ目を見せられる、何かの都合で是非とも著てゐやうと思へば『失禮ながら此儘で』と挨拶しなければならない。之が當時通用の日本禮式である。

◆何時か 何かの序に此事をある外國人に話した事がある。すると其先生以ての外と聞はねばかりの氣色で『そりや逆さまだ』と敦囲いて蒐る『何が逆さまかい』と聞けば、『逆さまさ君、外套はそんな場合に脱ぐものぢや無い、外套を脱ぐのはね、悠然御腰を据ゑて二三時間無駄話でもして遊ばうと云ふ場合の事さ、事務所にそんな悠長なお客樣は困つたものぢやないか、なあに、事務所へはね、外套を羽織つたまゝでつい這入つて目指す人と立話をしてくる、それで結構事は運ぶ筈のものさ

◆道理で 日本のお役所では動もすると椅子を薦められたりお茶を出してくれたり、それが君日本の禮儀かい』と眞向から手嚴しい。それから氣をつけて觀ると、成程西洋人はそう無暗に外套を脱がない、日曜日の集會に行つてみても外套のまゝで讃美もすれば祈禱もする外套を著てゐるのは失禮だと云ふのは一向根據の無い議論らしい

◆兎に角 僕は此際、人の部屋へ這入る以上帽子に次で外套を脱ぐと云ふ習慣、脱がなければ失禮だと云ふ考を世間に脱棄て、貰ふ事を提唱する、外套のまゝでついと這入つて二三分の立話に要領を得る、これが忙しい我々の事務の取方たるべきでは無からうか。訪はれた方でも勿論椅子やお茶の御心配に及ばないのは言ふ迄もない。若夫れ部屋がストウヴで暑いから脱ぐと云ふに至つては問題外たる事無論である。（布施生）

◆お祝ひの鰹節

春になるとお目出度い御婚禮が多くなつてこれから三四月にかけては一層增すやうでありますが、これにお使ひになる結納やお祝ひ物に鰹節は是非なくてはならぬものでありませう。先づ

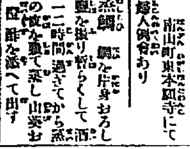
▽結納の島臺は 儀式通りとして廣くお祝ひ物として先方へお贈りするには色々な形式がありますがいづれも上物の土佐節や伊豆節の見事なものを選びます。名稱は鰹節の編み方によつて片松編みとか一文字編み、松竹梅飾り編みとか云ふのが普通で大抵鰹節を七本或は十本編み込ませてあります。その中でも派手やかに見せるものでは鰹節を載せた式臺に松に丹頂の鶴を飛ばせ、或は島臺の樣に却つて高砂の人形を付たものもありますが、それらになるとずつと高價で十本編み位でも一臺十圓位致します。又それよりも上等な向きでは同じ十本編みでも

▽式臺に寶船を 利かせて寶づくしの品々を細綱、羽二重、糸子などで見事に作りあげて申し分のない見事な贈り物にすると三十圓ばかりかゝります其外特別な好みでは遠州流の梅の生花を造花で拵へこれに鰹節を載せたものもあつてすべて一般の流行は派手やかになつて居る樣であります。

◎高田老師巡錫 曹洞宗兩大本山別院朝鮮布教管理者高田穎哉老師は二十七日朝南大門發列車にて京釜線大安、向上、合歡會提唱の爲め出發の筈なり

◎消防義會に寄附 過般千代本、山口癸胤店山下順平、岡崎町濟水紫太郎、太平通沿上中三及び京城電氣會社にては各自家及び隣家の火事に際し適當の防禦を受けたるを謝するため消防義會に對し金若干を寄附せり

◎東本願寺婦人會 南山町東本願寺にては二十七日午後二時より婦人例會あり



◆酒蒸鯛 鯛を片身おろしにして鹽を振り暫らくして酒に浸し一二時間過ぎてから蒸籠に竹の皮を敷て蒸し山葵おろしに醤油を添へて出す

給仕募集

本社に給仕を採用す左記の件々を心得て手續を爲す可し

一 年齡十五歳より十七歳迄高等小學卒業か若くは夫れに相當する教育ある者
一 市内に確實なる身許引受人を要す
一 希望者は履歷書及身許引受證持參來る二十九日午後三時本社營業局に來る可し

京城日報社營業局

商況

東京公債直取引（二十六日出來値）

五分特別	五分利	一四分	二四分	甲五分
九四、八〇	—	八二、三〇	八三、三〇	九四、八〇

東京債券現物特電（二十五日出來値）

東洋拓殖	京城電氣	朝鮮銀行	朝鮮瓦斯	南滿鐵道
六七、〇〇	—	一六九、〇〇	—	一三九、〇〇

深川在米特電（二十六日現在高）

朝鮮米	臺灣米	內地米
一四八、九三三	九五、七二二	一、七二三、八六一

東京期米特電（二十六日前場）

	寄付	高値	安値	止め
三月限	六八、九	六八、九	六八、一	六八、二
後場	—	—	—	—

大阪三品特電（二十五日前場）

	一月限	二月限	三月限	四月限	五月限	六月限
前場	一七三、四〇	—	—	一七三、九〇	一七二、一〇	一七二、〇〇
後場	一七三、九〇	一七四、六〇	一七五、四〇	一七三、七〇	一七二、三〇	一七二、三〇

大阪期米特電（二十六日前場）

當限寄付	中限寄付	先限寄付	止め
一五、四九	一五、八五	一六、五九	—

下關期米特電（二十六日前場）

	寄付	高値	安値	止め
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

◎綿糸布持合（二十六日午前）中の綿糸入電は三品先物百七十二圓と二標の入電ありしが何れも前日と大差なく綿糸布共に持合の趨に手堅き商狀を示し居れり

◎移出大豆の不評 ……其經過に就ては從來の通貨制度改められ……以來全般に於ける……は頗る活潑となり……五千餘噸の移出をなし了りて責任契約濟の半數以上を取扱ひたる有樣にて……

物乾燥不良、桝目不足等の種々の夾雜物……

斯弊風に馴れしむるは寒心すべき次第にて……

一々現品見本により賣買……

等の良否によつて寧ろ乾燥包裝……

◎古金類好況 戰後に於ける金物類暴騰の影響は漸次古金類の需要を增加し……

用原料となる物は到る所鮮內の……鮮人農具……

◎移入が増加し 昨年次第に內地よりの移入……

◎鑄物類は鮮內に於て……

◎約十圓方低 ……

◎醤油の其後 ……

◎帽子は好況 ……

◎硝子類又騰貴 硝子類は昨年秋の騰貴期すぎてより次第に値上げされしが……昨秋に比べ約五六割の高値を示すに至れり……

割方の値上 ……約一割五分より二割方の値上げなりと……

下關相場

▲朝鮮白米は變らず 其後二百七十俵の廻着に過ぎずして依然賣り急ぎ物の現はれざる爲め格別相場の低落を見るに至らず然れども其後內地期米の氣配き前附に連れ自然買氣の進まざる爲め賣れ行き捗々しからずして市況引立たず

▲大豆は弛まず 天候不良續きに依れる平昨今賣れ行き捗々しからずして別段相場の好調を見るに至らず然れども其後豐州産二百俵の廻着に過ぎざるのみならず朝鮮産の如きは依然輸送困難なるより限先き附は捗々……

京城正米

▲小豆は矢張保合ひ 其後價は二十俵の廻着に過ぎざるのみならず北海道の如きは限先附無く……

△鎭川溥滑大豆	十一圓四十錢
△元山大豆艙上	十一圓九十錢
△同大玉上品	十二圓四十錢
△慶山大豆	十一圓三十錢
△同	十一圓三十五錢

仁川期米

▲二十六日前場 前寄十六圓五十九錢と昨止より十七錢上放れ入電二節五十七錢の移りにて……五十一錢五節大阪四節九錢と安移り……

生魚市場

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

市場零聞

▲保合小堅し 天候晴 大阪の上放れを受けて十三圓〇九錢と寄付に……

▲二十六日前場 ……

仁川米豆取引所

二十六日の三月限

寄付	止め	高値	安値	出來高
十三圓〇九錢	十三圓〇九錢	十三圓十八錢	十三圓〇九錢	一萬五千六百石

賣買取組高

一月限	一萬石	
二月限	五萬四千六百石	四六萬
三月限	七萬九千六百五十石	五五萬
二十五日後場	前日と比較	

白米標値準 十四圓八十錢

小賣白米 現金賣 一等白米 十五錢五厘

▲免角賣物薄 ……

▲前場手振 ……

▲今能く賣る ……

▲㊦能く買ふ ……

▲㊥能く買ふ ……

▲尙且動かず ……

▲上げに幾分附隨 ……

▲投げ濟んだ新手買ひ ……

▲大阪より飛報 ……

▲底入 ……

▲硬派の期米觀 ……

㊞森仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話 ……

朝鮮總督府 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著

朝鮮語會話

定價金八拾錢 郵稅六錢

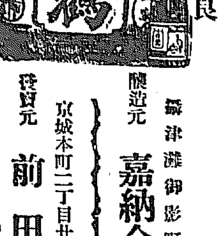
受驗者必携の資料 ㊥袖珍總クロース四百頁頗美本江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し倚要求盛なるに至れり朝鮮語の智識は本書に依りて說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最も親切なる解說者たり是非一本を備へられよ

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

大日本優等淸酒

ハクツル



品質純良 衛生無害

釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

◎濱縮緬製造卸小賣專業

滋賀縣長濱町字北船 越後屋商店 振替 大阪一五八〇番 東京一五六七〇番

代價表御報次第送呈仕候

醫化學器械一式

㊍ 仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番

京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

藥種賣藥卸商

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候

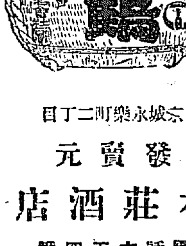
株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

優等淸酒



京城永樂町二丁目

發賣元

本荘酒店

電話六五四番 振替京城二六〇番

新荷著 ルツクルサ アンクル機械 懷中時計

同（ニツケル側）	十八形	二圓九十錢
同	同	三圓五十錢
同	同	三圓九十錢
同	同（片蓋）	四圓五十錢
同	十六形	四圓九十錢
同	同	五圓五十錢
同	同	五圓五十錢
同	十七形	六圓二十錢
同ラヂユーム	日附付十六形	十二圓五十錢
同（銀側）ラヂユーム入	十八形（兩蓋）	四圓五十錢
同	十六形	十二圓五十錢
同	同	七圓五十錢
同（銀側）近眼鏡陸美十二形（片蓋）	同	五圓五十錢
同	十二形平	七圓五十錢
同（金張）	十七形（兩蓋）	十二圓
同	十六形（兩蓋）	十三圓
同（十年保險）	十八形	二十六圓
同（十年保險）（金側）	十七形九金片蓋	二十八圓
同	十八金	至自 三百八十圓
流行奥樣時計	十三形ラヂユーム入	四十五圓
同	十三形ニツケル	七圓
同	十四形（銀側）	十四圓
同	十三形（銀側）	十三圓

右は今回新着の商品にて本商會獨占之ものなれば店に無き品のもの伏して御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候 地方遠隔の御注文に對しては代金引換

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商

イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

特約店

小資本を以て急速の成功をなし得可き 一村一名限りの特約組合店及其大の收入ある二郡獨占支部募集 返券入照會次第成功の手引たる營業案内進呈 東京神田萬世橋際 日本通商聯絡株式會社

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

明君道中記

第四十一席　田邊南龍口演

大久保彦左衛門は床の間の方へ立つて參り件の箱の蓋へ手を掛け開けやうといたしたが、逸平の方を見ると彼奴は皿のやうな眼をして凝視て居りますので蓋は開けられない彦『コレ逸平、忝くも東照宮より紀伊殿拜領の天下一品の五色の蔦、汝下郎の分際として頭も低げず見張居るは不禮であらう、逸平頭が高い、頭を低げろ』逸『へ、ー』蓋が開いた樣であるからもう宜からうと思つて頭を擧げて見るともう蓋を閉めてしまつた、逸『甚だ恐入りますが餘り蓋をなさるのがお早いので能く判りません今一度願ひます』彦『左樣か、然らば今一度見せて遣はすが後はならんぞ』と蓋を開けやうとすると是限りだと云ふから逸平は見損じてはならぬと思つて充分に頭を擧げて大きな眼を開いて居りますから彦左衛門は是は叶んと思ひ彦『コレ逸平』逸『ソレお出なすつた』彦『何だお出なすつたとは』逸『へイ』彦『勿體なくも東照宮より紀伊殿に賜はりし五色の蔦下郎の分際で頭を低げぬと云ふがあるか』と來たから逸平はもう何うでも宜い何うせ能くは判らない、大概間違ひはあるまいと思つて逸『相判りました故頂戴いたし度うございます』彦『判つたら持つて參れ』と右の箱を遣はしました故逸平は其箱を脊負て歸へつて參りました逸『へイ只今』登『オー逸平、使大儀であつた、彼の品を見て爺は喜んだであらうな』逸『大層御意に叶つたと見ねてお喜びでございました』登『然て五色の蔦を貰つて參つたか』逸『左樣でございます、頂戴して參りました』と其處へ持出しましたを登之助は見て登『大切な物であるから箱入になつて居る』と聽て箱の蓋を取つて中より取出したる鉢植の蔦登『ウーン是が五色の蔦と云ふ天下の逸品かな、餘り美麗な物では無いな、何かボロ〳〵粉末が溢れるが蔦の葉に何か塗つてある樣だ』と濡手拭で拭き取ると五色の綸の具が皆取れてしまう、未だ補たばかりで根付きませんから引張る機みに根が拔けてしまひましたから登之助は悉いて登『何だ此は』逸平五色の蔦といふは此品か逸『何うも怪しいものでございます、私が見届けやうとすると頭が高い頭が高いと云つて能く見せませんでした』登『拙樣な蔦があるか、是は彦左衛門が作り物をいたして此方を僞つたのだ、宜し〳〵此の上は登之助自身に參つて彦左衛門に懸合はんければならん』と直に馬を牽出させ槍を提げトゥ〳〵と乘ッ立て駿河臺の大久保の屋敷に蒐付けて參りましたが、門前へ馬を乘捨て玄關へ躍り上つて槍の石突を返して玄關の戸を破るばかりにドン〳〵突立て大音揚げ登『コレ彦左衛門何れにあるか罷出ろ、能くも登之助を欺いたな、一槍の下に突止めてくれん』大久保の家來は驚き奧へ飛込んで來て家來『御前樣大變でございます』彦『何だあの騒ぎは』家來『何だ處ではございません、青山の御前が槍を持つてお出なされ貴下を突くと申して居ります』彦『何に近藤が參つて俺を突くと、突れて堪るものか、宜しく俺が取押へて遣るから』と彦左衛門玄關へ出て參り彦『ヤア誰かと思つたら登か』登『默れ、あんな粗末な物を遣はして天下一品とは何だ』彦『品を出せば宜し左も無くば吊を返せ』彦『吊は疾くに酒井の許へ送つてしまつた』登『何に』彦『コレ近藤、俺の云ふことを能く聞け、酒井の申す事が氣に叶らずとも何故吊を描かぬ、是が調はねど備後守が切腹をする、左すれば德川家の御耻辱となる德川家の爲と思へば腹を立て處はあるまい、此の彦左衛門が貴公に描かして酒井に送つたも上の御爲此の道理を考へて引取れ白痴め』と彦左衛門は登之助を威し付けた

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　院長　安部修三　京城永樂町二丁目金光敎會隣　安部醫院　電話四一九番

歯科診療　往診（市内に限り往診無料）正午迄　自宅　正午ヵ午後九時迄　京城南山町三丁目一番地　歯科醫　檜崎東陽　電話一三六〇番

朝鮮　內科◎外科◎其他一般　實費診療病院　黄金町二丁目（電話二八三七番）

一月二十八日九星　舊正月六日庚午　本命四綠　四綠　取　赤口

▲四綠　浮和〳〵した事有る日落付て新事見合北方は吉　略劍宮▲五黄　辛勞多く効薄き日新事手控べし萬事は吉　商賣財を防がるべし▲六白　不運の日なれども新事控目の方吉　萬事圓滿は妨なし▲七赤　注意事有る日新事手控萬事は吉　萬丁寧にせらるべし▲八白　取柄なき事多き日　新事手控萬事は吉　住宅の口入等せぬがよし▲九紫　達の日　鋪居開業入門　名弘　求職金談婚禮合意業を起す等萬吉▲一白　好縁を得る日轉居入學行商名弘金件求職移粗船車を求る等萬吉▲二黑　有卦迷惑の事有る日新事手控萬事は吉一切のせわ事せぬがよし▲三碧　好調の日　轉居行商入學名弘金件求職嫁娶取養子女を定る等萬吉

廣島名産　山まゆ織　多物品　攝御一報次第見本進呈す　廣島市大手町一丁目　㋕高橋光時商店　振替大阪二一〇六九

演藝案内

御成町　電一一九一　御成座

△一月二十七日より中村梅昇一行　初日狂言式三番叟引拔暗事　一番目　四季模樣白縫物語　切　腹切土臺の盤　[illegible]

京城壽町　電話一〇五〇　壽館

◎獨流浪花節敎育的讀物◎第六日目讀物◎明烏十勇士續（原辰男）○一休和尚（吉川辰兒）○法延の血の涙○水府公（長講一席原晴風）○神崎與五郎續○大和名劍譽の刀（長講二席原晴生）

△入場料一等三十錢、二等二十錢、三等十五錢　但下足料共

櫻井町　電話八七三　大正館

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

△一月廿七日より提供の大寫眞△實寫英國に於ける綿花製造の實況△米國キーストン會社傑作○滑稽活劇デブ君の最後全二巻△英國ヴイタトグラフ會社近作○探偵大活劇死の道（全三巻）△溫厚篤實なる銀行員ハロルドの從弟クライブ情路して負債山の如く惡漢に誘惑により斯悼して亦失敗途に其兄に…［illegible］…△實父危篤の報に接し○新派大悲劇『亂れ菊』（全三巻）［illegible］○舊劇『寛永騎術の名人』（全三巻）△馬術の名士曲垣平九郎三代將軍の御前にて愛宕百八十の石段を［illegible］

本町五丁目　稻荷座

▲浪界の北斗竹川馬生一行　一月廿四日より讀物は每日續きです　一義列百傑（竹川一夫）一四つ谷怪談（廣澤展駒）一百文中の一（京山光若丸）一向井善九郎武勇傳（藤川粂春）一忠臣義士之本快一水戸黄門漫遊記（竹川馬生）▲初御目見得御披露の爲十五錢均一

明治町　電話二六〇　浪花館

▲東京落語柳連雷門助六一行　一月一日より每夜五時開演仕候　△演藝披露日△落語（雷門ぼたん）△落語（雷門助丸）△落語（雷門市六）△落語竹芝（雷門助三）△落語音曲手踊（雷門六松）△落語手踊音曲（都家歌助）△天下一品曲藝飛行の大皿（雷門助三郎）△六松と助吉△ばなし（喜久亭若樂）△江戸土産深川踊、かつぽれ、名物踊（雷門助八）△常盤津浮世節（稻妻や和中）△向島滑稽ポンチ（春雨や雷洲、雷門社中）△落語振事踊の舞（雷門助六）△大切滑稽劇（樂屋總出）

黄金町　電話二六三七　黄金館

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

一月二十五日より新提供三大寫眞▲米國パテー社傑作世界的連續寫眞全十二編廿四巻續き、大好評を以つて迎へられたる冒險大活劇第五『魔海』第十編第二巻上場、大冒險海……［illegible］△新派大悲劇『［illegible］』出まし……［illegible］

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醬油
醸造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の醸造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

最上　醬油　キハク印

下總國野田町
茂木七郎右衛門醸造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

御料御園白粉

訪問接客と御園白粉

年始の廻禮、客設け、芝居見物、其他歌留多會等の場合、すべて御婦人方の初春のお化粧は、粧けて高尚に化粧保ちのよい濃化粧に限ります。それには先づ濃化粧專用の白粉下御園の蕾の極く少量を、斑點のない樣に襟から顔にかけて丁寧に擦り込みまして、次に襟白粉には濃化粧用の御園固煉白粉を化粧水御園の露に溶かして附着け、顔の化粧には普通の御園煉白粉を用ひて、其上から粉製御園はき白粉を備へ附けのポツト刷毛か又は鼻叩き刷毛にて全体に刷き附けますと、御化粧斑を修補つて一倍美くしい生彩を現はします。

美くしいお化粧も時間經つに連れまして御化粧崩れのする時が御座いますが、御園紙白粉さへ御用意遊ばすと、極く容易く御化粧崩れを直す事が出來ますから至極御安心です、御園紙白粉は紙質が丈夫で香がよく、皮膚を毫も荒らす事なくして浮脂が容易く除れて美くしく御化粧直しが出來ますから、御訪問の節とかお芝居見物等には片時も肌身放せぬ御化粧料です。（御園紙白粉　定價金十五錢）

御料御園白粉本鋪　伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

(229)

京城日報
第三版
一月廿七日（夕刊と合せて八頁）

下關期米（二十六日後場）
…十三圓〇七錢と三錢安に寄付六錢と一步に上りたるも買原因にてザリ〳〵九錢と引締めて保合の…
▲（米）能く買ふ　…各子餘り荷にて他は小口商內であつた…今後當店より買たる玉殘三千餘石…に上りたりとの事にて注目に値ひせり
▲大阪の成行　今朝場上放れを相じたる大阪の成行は將に相場の一變を思はしめたが後場は又復元の四十錢に逆戻りして如何にも頭重き成行なり
▲忠淸大豆八四十錢長崎大豆八四三十五錢海州小玉大豆七四七十五錢等にて出來なり
▲後中限十三圓〇七錢六錢七錢（㊀）〆八錢（㊁）〆八錢（㊂）〆八

平均値段
一節　十三圓〆七錢
二節　十三圓〆八錢
三節　十三圓〆八錢
四節　十三圓〆九錢

…大米方の不在を窺ひて忍び入り現金四圓廿錢を竊取せしを手始めに同廿三日正午頃三和花園の井上方の室內に忍び入り十一圓五十錢入りの蟇口…行きて竊取したる事發覺し鎭南浦署にて取調べ中の處此程檢事局送りとなりたり

京城太平通二丁目　發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

歐洲大戰と興亞策（五）

弱邦としての支那

其の人口衆く、版圖大なりと雖も、其の國民にして文弱なるときは、國際競爭の世界に在りて其の國運を全うすること能はず、人口四億、面積四百二十七萬英方里を有し、四千年の歷史に富める支那が氣息奄々、列國分割の中心と爲り、自ら保つこと能はざるが如き、卽ち是れ也。

支那の根本的病根は、文弱に在り。文弱にして術策を弄するに在り。卽ち大國にして大國たるの素質を有せず、却て弱國の素質を有せざるなきに在り。立國以來、今日に至るまで、他方主義を以て國家を保全せんとする術策手段を墨守して之を變せざるに在り。支那の萎靡振はざる、其の原因一にして足らずと雖も、重なる原因の一は、玆に在るを疑ふこと能はず。

李鴻章は支那に於ける世界的政治家の代表者也。彼が直隸總督として北洋水師を建設し、獨逸式新陸軍を組織し、郵便、電信、鐵道等の文明的利器を採用したる、其見卓ならざるにあらず、其功亦た偉ならざるにあらず。左れど其の外交たる他力主義の術策を脫出する事能はず、遠交近攻の策に賴りて其功を收めんとしたるが爲め、終に其國を救ふ事能はざりしに非ずや。

廿七八年の役、彼が戰敗國の使節として日本に來るや、石敬塘の契丹を利用したる故智を擧び、露佛獨の三國に賴り、日本をして遼東還附を餘儀なくせしめたり。何ぞ思はん、三國干涉の報償として、獨逸の膠州灣占領と爲り、露國の旅順大連占領と爲り、佛國の廣州灣租借、英國の威海衞租借と爲り、列國分割の端を啓くに至らんとは、是れ豈に石敬塘の幽燕を割き他日亡國の端を啓きたると其轍を同うするに非ずや。

日淸戰後、彼は所謂夷を以て夷を制するの策を弄し、所謂『カシニー』密約を締結し、專ら露國に賴りて日本を制せんとし、露國の勢力をして滿洲に扶植し、日露衝突の機を早めたり。而かも日露戰爭の結果は如何。彼の墓木未だ拱せざるに南北滿洲は日露兩國の勢域に臨したるに非ずや。

袁世凱は李鴻章に亞いでの辣腕的政治家也。日露戰役の後、米國共和黨の帝國主義、太平洋を超ね、比律賓に據りて支那大陸に進入せんとするや、彼は米國の政策中に對日問題を包含せるを看破し、忽ち遠交近攻の策を弄し、米國に賴りて日本を制せんとしたり。唐紹儀が名を三十三年役償金免除謝恩使に藉り、米國に航して米支提携の祕策を講じ、米國をして滿洲中立問題を提唱せしめたるは、實に此時に在りし也。彼の選ばれて大總統と爲るや、列國に叩頭して日本を排し、其の統治せる支那は天下泰平なりと妄信し、黃袍を身に加へ、帝冠を戴かんとするに及び、一夫起りて四百餘州討袁の檄を飛ばし、四面楚歌の中に悲慘なる最後を遂げたるは、衆怨を一身に集めたるが爲めなりとは云へ、要するに他力主義に賴り、夷を以て夷を制せんとする政策を執りたる結果にあらずと云はざる可からず。支那が歷然世界の大國を以て、宜しく振ふべくして振はず、詮じ來れば、常に興るべくして興ること能はざるもの、偶然に非ざる也。

陽春解雪まで

戰局に變化無し

＝陸軍當局者の談＝

優勢なる獨墺勃軍の爲めに壓迫され一時其の危急を傳へられたるセレート河畔の露羅軍は近時其の形勢を挽回して稍々好況を持續せるが如くワバデニーを占領して敵の逆襲を無効ならしめたるを始めモナスチール南方に於ても敵を擊退してプレラ西南高地を包圍し之に損害を與へたりとのことなるがドブルヂャより進出せる獨マッケンゼン軍は

▽ガラツの攻略に　必死となり居れるも未だ容易に其の目的を遂する能はずセレート河の線に踏み止まれる露羅軍は漸次敵を壓迫して失はれたる地區の回復に努力しつゝあり左れど之れを以て獨墺軍の勢力已に衰へて最早躍進の英氣なきに至りしものと觀察するは決して其の實相を得たるものにあらず最近羅馬尼の兵力を比較するに羅馬尼軍は開戰の當初七十萬以上の動員を行ひたりと稱するも其實は五十萬內外に過ぎざりしと見るを至當とす可く今や其三十萬を失ひたりと言へば殘兵僅に二十萬を算するに過ぎず而して來援の露軍約三十萬を加へて漸く當初の兵數を保持するに止まれるが獨墺勃軍は其の

▽全數七十萬以上　に達せるが如く露羅軍よりも遙に優勢なるは之を疑ふ可らざる也若し獨墺勃軍にして眞面目なる態度を以て猛烈なる攻擊を敢行せむかセレート河線の防備は決して强固なりと言ふ能はざるが故に之を突破すること必ずしも困難なりとせず然るに目下の戰況寧ろ露羅軍の優勢なるを示せるは其の勇敢なる行動に出でたるの結果たるや素より之を否定する能はざる可しと雖も其の主因は獨墺勃軍の攻勢が故意に緩慢なるに至りしためには非ざるか之を大局より觀察するに今や已に戰鬪にのみ專心沒頭するの時機は已に過ぎ去れる也獨帝の講和提議は一度失敗に歸したりと雖も之が爲めに

▽全然其の望み無き　に至りしにはあらず獨帝は更に機會を見るにあらずや聯合國側に在りても獨逸側の滿足なる讓歩を見るに於ては今日にても敢て平和の克復を拒否せざるのみならず却つて之を希望するの態度明瞭にして要するに今後の策戰は專ら講和の機運を促進するにあるや勿論にして今は戰爭と講和の併行せる時機とも稱するを得可く戰局の進展遲々たるは素より當然の次第にして加ふるに目下嚴寒積雪の季節に際して各戰線とも全く大兵を動かすに由なく將卒の志氣亦講和の風說に依りて大に惰氣を生じたるを否定す可らず斯くの如くにして今後の戰鬪は講和に對する

▽前途の觀測如何　に依りて消長あるに至る可く獨軍の羅馬尼を席捲して南露ベッサラビヤを侵略しサロニカに出でゝ更に伊國を脅威せむとするが如きは今回重ねて提議さる可き獨帝の講和に對する聯合國側の態度如何に依りて之が斷行の遲速を決せらるゝに至らむも今後兩三箇月間は各方面共に何等活目す可き擧動を生せざるものと見て差支なく陽春解雪の時季を待つて講和の機運猶ほ熟せざれば或は再び戰線の活躍を見るに至る可し而して兩軍の決戰的活動は東西兩戰場を除きたる方面に於て行はる可く特に世人の期待するが如く英佛方面に花々しき大戰ある可しとは思はれず恐らくは最後まで今日の如き

▽局部の小戰鬪を　反復するに過ぎざる可し最近ホーモンタール北方に於ける英佛軍の成功は之れ昨年以來イープル、ソンム間に於て屡々行はれたる斷片的の局部戰にして勝利には相違なきも大局に何等の影響を及ぼす可きものにあらず唯之に依つて敵軍を惱まし疲弊を加へしむるを得るは何等否定せざる所なりとす（東京）

鑛業の現況（十）

▽蘇民鑛山

蘇民鑛山は銀鉛亞鉛を産し平安北道寧邊郡龍山面に在り鑛業人は合名會社藤田組にして大正五年一月より九月に至る鑛産額は六百五噸五五五此價格二萬四千二百二十二圓二十錢なり本鑛山附近の地質は石灰岩中に生じたる交代鑛床なりとす大なる鑛塊にして稍西方に傾斜し其主要鑛物は輝亞鉛鑛にして少量の輝鉛鑛を隨伴す僅露頭部に在りては大部分炭酸亞鉛に變化せり

△採鑛及撰鑛　開坑の方法としては引續き輕易簡便を主とし專ら手掘に依り掘進せり其の大正五年九月末に於ける掘進の總延長は五百九十尺なり採掘したる鑛石は何れも坑內に大部分の磐石を除去し十二封度軌條に依り鑛車にて坑外に搬出し六分目グリズリーにて粉塊に分ち粉鑛は更に三分目篩にて三分以上と以下に分ち三分以下は其儘精鑛として取扱ひ塊鑛は更に鑛石と捨石とに手撰す

△運搬　昨年來開鑿中に係る德川球場里間の新道路は開通するに至らざるに依り鑛石は目下本山に貯鑛せるも道路開通と共に牛車に依り本山より約五里を距つる淸川江畔球場里の新安州に運搬し更らに鐵道に依り鎭南浦に送り同所より汽船に移積し岡山縣小田郡神島外村字外浦大阪亞鉛鑛業株式會社神島製錬工場へ送付す

▽永興里鉛山

永興里黑鉛鑛山は咸鏡南道永興郡長興面に在り鑛業人は山下善三郞にして大正五年一月より九月に至る鑛産額は三百二十二萬五千八百斤此價格三萬二千二百五十八圓なり

△採鑛及撰鑛　採鑛は前年同樣鑛床の狀態により坑道掘と露天掘とを併用す坑內運搬用としての橫坑には十二封度軌條を敷設し竪坑には捲揚機を裝置す該鑛は元鑛の儘輸出販賣するを以て之れが撰鑛は採鑛の際夾雜物の排除に努め採鑛後更に夾雜物を指頭にて排除す運搬は採鑛所より元山迄の間は牛車川艀及び帆船等に依り運搬し元山門司間は汽船に積載し門司港田の浦に陸揚して梱詰となし輸出販賣す

▽得水鑛山

得水黑鉛鑛山は慶尙北道尙州郡牟西面に在り鑛業人は小宮萬次郞にして大正五年一月より九月迄の鑛産額は四百四十一萬八千四百斤此價格四萬四千百八十四圓なり

△採鑛及撰鑛　採鑛の方法は鑛床の走向に沿ひて數條の橫坑道を鑿ち五十尺乃至百尺毎に坑井を設けて上下の坑道を連絡し鑛床賦存の狀態に從ひ殘柱掘若しくは階段掘の方法に依りて採鑛す而して坑道掘鑿には間々爆藥を使用することあれども採鑛には專ら鶴嘴のみを使用す排水の方法は地勢の傾斜に從ひ是を利用し鑛脈の露頭より三百二十尺下に疏水坑道を通じて排水し又人力に依り排水す大正五年九月末日現在坑道の總延長は三千九百九十六尺なり坑內運搬は第一、第二、第四及び第五坑道はバチゲ（普通朝鮮人の使用せる負籠）を以て坑外撰鑛場に搬出し第三坑は十二封度軌條を敷設し鑛車にて搬出す撰鑛場には全部松一寸板を敷詰め坑內より搬出し來れる粗鑛を其床上にて雜石不良質黑鉛を手撰しつゝ木槌にて粉碎し之を一尺に四十目（六角）を有する篩にて篩ひ塊鑛を撰別し其篩を通せざるものを更に木槌にて碎き二番篩（目は前同樣）に掛け篩滓は別に裸の儘一定の箇所に堆積し第一回及び第二回に篩ひたる精鑛は之を麻袋に包裝す

△交通及運搬　鑛區は慶尙北道尙州郡牟西面得水洞を西北に距る十八町餘の所に位する八音山の中腹に在り京釜線、黃澗驛を北に距る四里半程京城釜山間の國道に沿ひ京釜線の中央に位す黃澗驛より得水洞を經て八音山麓の事務所々在地に到る十二哩六十鎖間には黑鉛運搬專用輕便軌道あり鑛床より輕便軌道終點間約三丁は牛馬背に駄載し若くは人背に依り運搬し其より黃澗驛迄輕便軌道に依り搬出し同所より釜山迄汽車輸送し下關を經て歐米市場に輸出す

北滿の露國航業

露國の北滿洲に於ける航路の詳細左の如し

▲東省鐵路公司（東淸鐵道會社）　該公司航船の松花江に在る者二あり（一）伯都納、哈爾賓より米瓦伊羅及び合遊窩富斯卡雅の各處に到る者（二）松花江より吉林省城に到る者

▲江省汽船公司　黑龍江省汽船公司は千八百七十一年の創設に係り元と汽船及び貨船六十餘隻を有し每年の利益は四十餘萬留を算せしが現在にては汽船貨船共に增加して一百餘隻となり航路四個を數ふ（一）黑龍江流域（二）烏蘇里流域（三）松花江流域（四）愛琿流域

▲江省商船公司　黑龍江省商船公司は千八百九十五年の創設に係り汽船貨船共七十餘隻なりしが現在は百餘隻に增加し三航路に就航す（一）黑龍江の斯多齊斯科及び布拉哥烏挨斯科、米瓦伊羅、合遊窩富斯卡雅、哈巴羅夫斯科より尼哥拉伊斯科に到る間（二）烏蘇里江、哈羅夫斯克より卡遜尼路伊岐羅富圖（三）松花江流域

▲航路擴張計畫　聞く處に據れば最近東省公司は航路を擴張し左の三新航路を開かんとす（一）哈爾賓より富克錦に到る間とし汽船を左記の十八地點に寄港せしむ（一）滿達哩子（二）楊河（三）巴彥縣（四）新店（五）崇倫口（六）東喀拉（七）南天門（八）義林河（九）依乕（十）德莫里（十一）依蘭縣（十二）大賴河口（十三）佳木斯（十四）怙運（十五）拉哈蘇々（十六）文黑河乕（十七）克雅瑪（十八）富克錦（二）哈爾賓より伯都納に到るものにして（一）阿克楚諾（二）碁吉（三）大戶（四）新城（五）伯都納に寄港せしむ（三）陶賴照より吉林に到るものにて（一）五棵樹（二）三水甸子（三）西拉河（四）烏拉街（五）吉林省城の五箇所に寄港せしむるものなるが本航路は去歲に開通せり
以上の各航路は每年四月より航行を開始し九月に至りて停航す

日報詩壇

○題壁　木田芳洲
醒天涯賦客久七年未博錦衣榮鬢
華將害人將老殘膽回頭恨有餘
評曰　同情同感、

○題壁　高井椿堂
祭詩際裏根緗緗倚鬢梅花淺笑嫣百
感交來忍題壁羅前閑坐待新年
評曰　職夜賀兄、

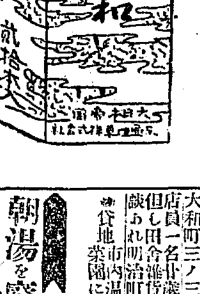
氷　—五の日十の日會吟—

句
○氷閾またげず見守る　虎
○氷押す日氷江のひゞき　鳥
○氷の上行く連立ち離れず　日
○夜火事消ねて氷流るゝ音

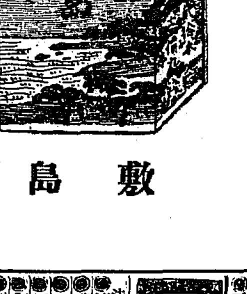
平耳堂池

廢物利用臺所向きの大福音

德用で經濟なこんな面白い
空袋引換は滅多に有りません
空罐一本もなし

大和


各々空袋五十枚御持參の方には敷島又は八千代三包と番號記入景品券一枚を洩れなく進呈致します
景品券は千號に達すると同時に〆切り抽籤致します


敷島

景品種目
一等　上等丸帶　二本
二等　上等半襟　二八本
三等　上等煙草入　七〇本
等外　敷島又は八千代一包宛　九〇〇本
合計　一、〇〇〇本

武藏野

東亞煙草株式會社

皆樣方の御慰みとして
こんな面白い空袋引換は有ません

京日案內
普通一回前金一圓（…）五十錢　番外一回前金一圓（…）
古本類　大注文引受品不足に付此際出來得る限り高價申受候　本町電二五二七　ウツボヤ書店　39
融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談　京城大和町三ノ三二（柄澤前）起木屋　91
店員一名至急入用　廿歳前後の者　但し田舍雜貨商向希望者は下記迄來談あれ　明治町東拓前床屋裏　松岡　90
貸地　市內溫暖の地二千五百坪餘　菜園に好適　電話三九一番　93
番外
朝湯を廢し來る二月一日より正午開始仕候　京城湯屋組合　92
女產兒やりたし　面貌發育良好昨今の生兒兩親の血統其他極めて正しきもの（姓名在社）　94
雜貨商店讓りたし　京城府北米倉町百四拾番地　津坂商店　88
京城春川間行自動車賃金片道四圓　京城春川間毎日午前八時卅分出發　南大門通一丁目　廣橋自働車組　電話二一九番　主務　金正淵　4

最新刊
法理詳說判例參照質疑引用　債權者の法律顧問　杏蔭堂　特一、八〇
滿洲發達史　稻葉君山　三、五〇
日本美術史講話　黑田鵬心　特一、八〇
新譯碧巖錄　鱸谷禪師　特一、〇〇
訂正實用計算法秘傳　佐々木政吉　五〇
例解詳說英文典新釋　淸水起正　九〇
浮城物語　矢野龍溪　九〇
過渡期に於ける大英國の危機　宮家壽男譯　七五
一喝　釋南天棒中原　九〇
宗演禪話　釋宗演　九〇
徹底禪　秋野孝道　九〇
禪窓閑話　菅原時保　九〇
悟道の妙味　釋宗活　九〇
牛　岡本米藏　一、〇〇
當世百道樂　堀內新泉　一、二〇
大正の青年と帝國の前途　德富猪一郞　一、八〇
世間學　村上浪六　九五
男讀むべからず　丹いれ子　七五
新式簡牘寶典第五　鈴木錢太郞　七〇
ペン手紙と葉書の書方　黑澤勤　八五
大正新實用ペン習字帖　同　三〇
朝鮮總督府巡査受驗提要　長野…　特四五
大阪屋號書店　京城本町二丁目　電話二〇八六番　振替京城二五七三番

國產　白檀油代用藥　ゴノサンビル
本品は白檀油と化學的に成分を等うす治療的効果も亦白檀油と相伯仲し…本品は最も優秀なり
白檀油の代用として好評嘖々たり
文獻及見本贈呈　醫家ニ限リ本社ヨリ送呈ス
發賣元　大阪市外中津町　三友製藥合資會社
大阪道修町　武田　東京本町　小西

憲政會前代議士會

憲政會前代議士總會は二十六日午前十時三十分より築地精養軒に於て開會出席者は加藤總裁以下前代議士百七十餘名藤澤幾之輔氏會長席に著き開會の挨拶を述べたる後今期議會報告書起草委員に加藤(政)早速、關(和)の三氏を指名し次で武富總務加藤總裁より(別項)激勵的演說あり一時二十分閉會午餐を共にして散會せり(東京特電)

加藤總裁演說

二十五日不信任決議案の議事に於て尾崎行雄氏をして充分贊成理由を說明する機會を與ふる事を得ざりしは大に遺憾とする所なり今回の如く代表者の說明の機會を與へざるが如き解散は未曾有の事なり凡そ解散には必ず其の目的あり曾て松方內閣は蠻勇內閣の稱ありしも其の解散には明白の理由ありしなり然るに今回の解散は其の理由何處にかある抑も寺內內閣を信頼せざるは擧國一致の聲なり現に政友會に於ても理想としては寺內內閣に反對なりと言明し居れり然らば是衆議院一致の聲なり然るに是を解散して國民に對し信任を問ふとは何事ぞ政府は秘密會に於て昨年三月七日前內閣々議の決議を頭諸し自負揚々たりしも該決議は憲政に對する臨機の處決にして即ち此の決議の根本方針は支那が動亂の爲めに秩序を保つ事能はざる結果延て日本に甚大の影響を及ぼすが故に支那の內政に干涉せざる程度に於て友誼的に帝政延期の勸告を爲したるなり袁氏薨じたる以上は此の決議事項は自然に消滅したるものなり寺內內閣の對支方針は支那に如何なる動亂起るも唯手を空うして是を觀んとするの趣旨なるや否や本野外相は二十三日衆議院に於て支那が日本に信頼するとせざるとは彼の適宜なりと言へり實に驚き入りたる事柄なり(中略)要するに寺內內閣は何等の經綸抱負無し故に我々は充分國民に這般の事情を說明し全國民一致して寺內內閣の信頼するに足らざる所以の事實を示さゞる可らず切に諸君の奮勵努力を望む

政友會前代議士會
今後に處する原總裁の演說

政友會にては二十六日午前十一時三十分本部に於て前代議士會を開きたるが原總裁以下八十餘名出席床次氏會長席に著き先づ原總裁より別項の如き演說ありたる後第三十八議會報告書起草委員として小川、鵜澤、古谷の三氏を擧げ次で江藤幹事長は選擧に關する諸般の事は機宜に適するやう各支部に通知すると同時に各支部に關し種々協議すべき考なるも重大問題なれば心附の點は本部に申出でられたしと述べ引續き選擧に關し成田榮信、武藤金吉の兩氏より希望申出あり零時三十分散會せり(東京特電)

原總裁演說

衆議院の解散は不幸に相違無し然れども既に解散を成りたる以上は之を轉じて憲政の進步に資するの覺悟あるを要す我國の遭遇し居る現下の情勢は實に容易ならざるものなり故に國利民福を增進すべき根本的政策を確立するを以て最大急務なりと信ず徒らに政爭を事とするは國家に忠なる所以に非ざるなり故に我黨は現內閣に對し嚴正中立の態度を持し其の是なるものは之を贊し其の非なるものは之を排し以て國家に貢獻せんと欲せしに終に解散の不幸を見るに至れり(中略)襲に反對黨の讒誣中傷に依り我黨の被りたる世上の誤解も漸次消散し曾て橫暴なりと叫びたる者も今は大隈內閣及び其の與黨の如何に橫暴なりしやに驚きたるなるべし今回の選擧は一昨年の如き選擧干涉あるべしとは信ずる能はず我黨の回復を圖るには絕好の機會なりと思惟さるゝに依り諸君と共に奮勵し十二分の効果を收めんと欲す

解散理由
四五日中に發表

衆議院解散後第一回の閣議は二十六日午前十時より開會首相以下各大臣出席解散後に於ける政府の方針に就き凝議する所あり後勅令人事數件を議了し零時三十分散會せり解散理由に就ては寺內首相の演說にて明瞭なるも首相の所謂善政主義に對する具體的意見は四五日中に發表する事とし尙總選擧施行期日に關しては次會に於て決定する事となせり(東京特電)

選擧取締方針
地方官の更迭を見む

內務省にては來る四月總選擧に關する取締方針其他を指示する爲め近く地方長官を召集し會議を開く事に決定したるが引續き警察部長會議を開催し同時に地方官の更迭を見るべしと(東京特電)

白票懇親會

白票懇親會は二十五日午後五時より築地精養軒に於て開催尾崎、武富、箕浦、河野、安達、片岡、濱口の諸領袖を始め憲政會代議士及び院外有志等相會するもの三百餘名司會者の挨拶終るや

▲尾崎氏の演說

尾崎行雄氏は迫はるゝが如き拍手を浴びて登壇し先刻議會に於て吾等の立場を明にせんとしたるに政府は卑怯にも演說を中途に打ち切り解散を行へり大和魂を有せる帝國臣民には敵を避する自ら途あり寺內伯は武人なり身軍籍にあり陸軍の頭目にして而も士魂を有せず己れのみ言はんと欲する處を盡して吾等の口を塞ぎ突如として議會を解散せり古言に敵の走るを見て吾の强きを知ると云へり敵の走る事斯くも早きを見て吾等は始めて吾等の强きを知れりと冒頭し當日元田氏の演說を駁擊し更らに轉じて二十三日の本會議に於ける秘密會の公開を寺內伯に交涉したるに伯は頑然之れに不同意を唱へたるは國家の爲慨歎に堪へず同會の內容は秘密を守るべきも同會に於て政府の聲明と不統一は遺憾なく暴露せられたり寺內伯が同會內容の公開を懼るは畢竟國家の利害よりも自己の利害を重んずるが故なるべく昨日來の傾向を見るに政府は明治二十三年より五年にかけてわひたる極端なる言論壓迫を今日繰り返へさんとするものゝ如し斯る內閣に此の大事なる時局を託すべからず寺內伯自ら　陛下に伏して其の不明を謝すべきに却て議會を解散するの暴擧に出づ予は三十年來政界にあれども斯る亂暴なる政治家に出會したるは今回が初めてなり故に吾等は今次の總選擧に於て國民に政治的自覺を附與し閥族政治を根底より覆すと共に斯る不良なる政治家が再び政局に擡頭するの餘地なからしめ今日の如き政治上の過誤を繰り返へさゞらんことに努めざるべからずなど尾崎一流の罵詈的演說を試み議場に於る鬱憤を漏らせり(東京特電)

英獨北海會戰後報
敵艦損害莫大＝英艦一隻爆發

二十二日夜英國快速部隊(多分輕巡洋艦驅逐艦隊ならん)は北海に於て警戒勤務中和蘭國海岸に於て獨逸驅逐艦隊に遭遇し其の一艦を擊沈し其の他は大損害を與へて敗走せしめたるも夜暗くして戰果明白ならず又英國驅逐艦隊はシューイン、バンク附近にて敵の驅逐艦隊と短時間激戰を交へ英艦一隻魚形水雷の發射を受けて爆發し死者四十七名を出したるも敵艦は其の後英艦の手にて沈沒せしめたり他に英艦隊には損害なし＝在英國大使館附武官發海軍省著電＝(東京特電)

▲敵敗北を認む

エムイデン來電＝北海の會戰に於て敗北遁走したる獨逸驅逐艦ヴイ六十九號生存者の語る處に依れば二十一隻より成る獨逸驅逐艦隊は二十二日午後二時獨逸を出航し翌日午前三時となるや横手に現はれたる英艦隊の發見する處となり英國側は長距離より砲火を開け英國側の照準は最も正確にしてヴイ六十九號は間斷なく砲彈の命中を受けたり敵は大軍艦四隻乃至六隻より成る艦隊なれば我が驅逐艦隊は急ぎ遁走せり獨逸側は戰爭を回避すべく有ゆる豫備手段を講せしも終に斯く損害を被るに至りしは敵に肉迫する者ありしが爲めならんと想察さる當時我獨逸艦隊はエムスカ港に向け航行中なりしにイムイデン沖に於て遙かに英國驅逐艦四隻を見受け爰に此の戰を見るに至りたるが主戰はゼーブルグ沖三十浬の地點に行はれたり獨逸ヴイ六十九號は艦隊の後衛たりしを以て逃走するを得たり他の諸艦は如何に成り行きしか判明せざるも大損害を受けたるは疑ふべくもあらず(倫敦電報)

獨軍多腦占守拋棄

獨逸公報に曰我軍は多腦河北方及ツルセア北岸の多腦三角洲を拋棄せり(倫敦電報)

英國と婦人參政權

英國下院選擧法改正委員は或る形式の下に婦人の參政權を認めんとしつゝあり(紐育電報)

對支外交演說好評

二十三日貴族院に於て爲したる本野外相の對支外交演說は奉天支那人側に好影響を與へたり(奉天特電)

陸軍異動か

本鄉第一師團長は中村大將の後任として關東都督に明石第六師團長は大谷大將の後を襲ひて靑島守備軍司令官任命に內定せりとの說あり(東京電報)

解散と株式界

議會の解散は株式界に大なる動搖を及ぼさず依然好人氣なり(東京電報)

赤塚總領事披露宴

赤塚奉天總領事は二十五日新任披露宴會を催したるが席上張督軍以下三十餘名の大官參列せり(奉天特電)

豫算不成立と朝鮮の陸軍

大正六年度豫算不成立の結果朝鮮に於ける陸軍の諸施設は如何なる影響を受くべきや右に付軍司令部經理當局は曰く朝鮮に於ける大正六年度陸軍の主要諸事業は(一)朝鮮二個師團の完成の繼續事業(二)砲兵工廠支廠の新設(三)機關銃隊新設其他なるが第一の朝鮮師團完成事業は大正六年度に於て約三百萬圓を要求し之れを前年の約百五十萬圓に比すれば正に二倍となり居れり但し此分は昨年の議會にて其の支出の協贊を經居るに付何等影響を受けざるべし但し陸軍省に於て如何なる實行豫算を編成するかは未だ明らかならず萬一增師計畫による經費の支出を前年度實行豫算と同樣の額に依らざる可らざる事ともならば諸般の繼續的施設に大打擊を蒙るを以て來るべき臨時議會に其の不足額を追加豫算として要求すべし砲兵工廠支廠の新設は六年度に於て三百萬圓の豫算となり居れるもコハの性質が一年の猶豫を忍にし得られず又避くべからざるものとは見られざるに付臨時議會に其の經費を要求し能はざらん機關銃隊の新設其他も砲兵工廠支廠と同一の運命に陷れるものにて半島に於ける陸軍諸施設の完成上遺憾なれども止むを得ざる次第なり

豫算不成立と鑛業行政
鑛區臨檢費は追加豫算に計上か

近時鑛業界の勃興は頓に鑛業行政の繁忙を招致し種々新規施設の必要を感ぜるのみならず出願に對する處分事務の如きは昨年末の停滯件數三千に上るも限りある定員數は鑛區の臨檢其の他の進捗容易ならず停滯益々甚しからむとするの狀況なるより當局に於ては平壤鑛業所擴張、地質調查開始、保留鑛山採掘等の諸經費と共に大正六年度豫算に於て鑛區臨檢費の增加を計上し定員を增置して稼行鑛山の指導臨監に努め、地質調查と呼應して以て益々鑛業の進展發達に貢獻せんことを期せしは豫算不成立の結果は之れ等の計畫全然瓦解し遂に前年度踏襲の止むなきに至れり然れども不成立豫算に現はれたる是等の經費は平壤鑛業所擴張費に在りては概ね從來の繼續費若くは經費を互に取捨案配したるものにして前年度豫算に對する增加額は平壤鑛業所擴張費を除き通計三萬一千餘圓に過ぎず即ち地質調查並に保留鑛山採掘費は從來の鑛床調查費より分岐せるものにて其の增加額は何れも極めて僅少なれば鑛床調查費にして復舊の途を得ば左したる問題にはあらざる可く唯だ事務費即ち鑛區臨檢費は前年度に比し約二萬八千圓の增加を見たるが這は前述の如く鑛業界の現狀に鑑み必須の處置に出でたるものにして若し削減を見るが如きことあらば出願處分は更に異常の停滯を重ぬ可く斯くては鑛業行政上由々しき大事なるを以て政府に於ても之れが費目は是非復活せしめむ意嚮あり當局は臨時議會を俟ちて追加豫算に計上其の協贊を經るか若くは部局員の遣り繰りに依りて一時の急に應ずるかは未定なるも兎に角適宜の方法に依り是非とも遂行の運びを見る可し

林野調查令 立案

總督府林野調查は從來區劃調查に止まりしが造林の奬勵上整理調查の必要を認めたるを以て目下總督府主務課に於ては其方法計畫に付立案研究中なるが右は早晚制令として林野調查令の發布を見るに至らん

製煙輸移出額

大正五年十一月中に於ける鮮內製造煙草の輸移出額は口付紙卷煙草百七十二萬八千本、兩切紙卷煙草千八百五十五萬三千本、價額合計五萬四千九百四十九圓餘にして一月以降の累計價額六十八萬五千五百四十一圓を算し之れを前年同期の輸移出價額二十九萬二千五百七圓に比すれば實に三十九萬三千三十三圓即ち十三割四分四厘の激增を見たり。

豫算頓挫と東拓
改正法案又復延期せらる

議會解散に伴ふ東拓の影響に付會社某當局は語つて曰く議會解散の結果は東拓の豫りたる影響は府拓法改正案が復又無期延期となりたる一事惟れ也前期議會に於ては握り潰しの厄に遭ひ今期議會にては未だ上程を見ずして茲に至る克く〱廻合せの惡しき次第也然れども該改正法案は東拓今後の新使命を開拓す可き重大なる意義を有するものにして之れが荏苒決定の機會を逸するは東拓其のものに在りては勿論國家の爲めにも遺憾とする所なり東拓改正法案の骨子たる從來巷間に傳へられたるものと大差なきが就中最も主要事項とも稱す可きは例の業務區域擴張問題也。朝鮮に於ける東拓の事業としては既に過去の事に屬し今後の東拓は單に從來の經營を基礎として移民保護を一層完全にし▲金融部の機能を敏活ならしめ水利事業の振興を期する底の東たり今後の新東拓をして一段存在の意義を顯著ならしむ可きは要するに滿蒙經營の一事に外ならず前陳業務區域の擴張は之れを意味するものなるが是れが爲め我社は一方社員を派して實地調查の任に膺らしむると同時に重役に在りても銳意之れが畫策に力め居る折柄議會解散に依りて一頓挫を來したるは最も遺憾とする所なり若し其れ補給金問題の如きは右の附帶條件にして從たる問題なれば主要案件の頓挫は勢ひ附帶條件に及ぼすは理の當然の事にして會社が▲法律の撿束に依り從前通り業務を繼續するに於ては必らずしも多く意とするに足らず現に來る可き三月末の決算の如きは補給金廢止後第一期の決算なるも利益金豫想高は補給金を受けたる前年度に比し下る事なきを以ても知り得る次第なり

平壤製煙狀況

平壤に於ける客年十二月中製造煙草賣行狀況は付紙卷煙草總數一千九百六十一萬本にして十一月に比し十割を增加し四年十二月に比し七割六分の增加を示せり此增加は兩切下級品就中菊水の賣行激增したると年末に際せるを以て朝日級のもの賣行良好なるに起因するものゝ如し各製品賣行は總數の六割五分を占むる菊水を筆頭に朝日、白菊、日月の順序にして新世界、初日、曉其の次位にあり兩切煙草は總數二千六百五十三萬本にして前月に比し九割二分を增し四年十二月に比し實に十一割の增加を示せり原因は一般市場の好況を呈せると年末に際し供給者の努めて販賣に意を注ぎたるに起因するものにして賣行順位は總數の四割三分を占むるウエルスを筆頭にヘルメット百圓ダリヤゴールデンコスモス一圓萬福ホワイトコスモスペビーユニコール、パラダイス、手票の順位たりとす亦刻煙草は二百五十貫の賣行にして前月に比し一割七分を增加し前年十二月に比し十割を增加せり本月分賣上總價格は七萬九千圓にして前月に比し四割を增し前年十二月に比し十一割を增加したるが賣上價格前月及び四年十二月に比し著しく加增を來せるは地方取引關係の消長に起因するものありと雖も一は嗜好の全葉喫用よりも兩切及び口付の下級品に轉移しつゝあるもの多量にして且尙一般市場の好況を呈せる結果並に歲末年首に際するを以て著しく需要を增加せるに依るものゝ如し今地方間の取引價格の大要を擧ぐれば南浦二萬三千圓安州博川方面一萬一百圓沙里院六千圓兼二浦二千百圓黃州二千五百圓の取引ありたり(平壤)

醫專工業兩校認定

京城醫學專門學校、京城工業專門學校は文官任用令第二條第一號に依り認定す但し專門學校令に依り專門學校に入るの資格を有し又は專門學校入學者檢定試驗と同一程度の入學試驗を受け入學し卒業したる者に限り効力を有するものとする旨本月二十二日文部省告示を以て發布されたり

御嶽丸繼續就航

滯貨疏通の爲め鐵道院にて臨時傭船したる關釜間就航船御嶽丸は一月を以て期限滿了する由なるも引續き二月中も傭船運航する由

鮮銀總裁歸期

滿洲視察中の美濃部鮮銀總裁の一行は二十六日朝長春發多分二十七日午後七時三十分南大門驛著列車にて歸京すべしと

松寺氏送別會

官民有志の催しにより開かれたる廿六日夜朝鮮ホテルに於ける松寺平壤覆審法院檢事長の送別會は會者無慮百五十餘名宴酣なるや城京城覆審法院長發起人を代表して送別の辭を述べて乾杯の禮を行ひ次いで松寺檢事長の謝辭あり盛會裡に散會したるは九時過ぎなりき

松寺檢事長赴任

新平壤覆審法院檢事長松寺竹雄氏は家族を同伴し廿七日午前九時十分南大門驛發列車にて赴任の途に就く可し

桑原長官入院

滯京中の咸北道長官桑原八司氏は持疾尙ほ全治せず大平町安東病院に二十六日入院したるが約二週間位療養すべし尙ほ症狀は重態に非ずと

咸南內地人數

咸鏡南道在住內地人戶口數(客年十二月末現在)を見るに戶數四千六百二十七、人口男八千一百五十三、女七千四十九計一萬五千二百二にして之れを前年に比較すれば戶數に於て二百八十八、人口に於て男六百十二、女三百八何れも增加を示し居れり而も大別して南部の各都邑は著しき減少を來し北部の各地方に於て增加したるは注目すべき奇現象なりとす即ち元山府內の減少一百十六戶、甲山銅店附近の增加三百七十五戶等は其の主なるものに屬せり(元山)

仁川府內地人本籍別

仁川府に於ける居住內地人本籍地方別を揭ぐれば左の如し

東京三三八▲京都一七〇▲大阪六一九▲神奈川一〇四▲兵庫四七七▲長崎一四四▲新潟五八▲埼玉二八▲千葉五四▲茨城二九▲群馬一六▲栃木二四▲奈良九七▲三重二三五▲愛知一四六▲靜岡一一一▲山梨三五▲滋賀一三五四▲岐阜五二▲長野三二▲宮城一一▲福島七二▲岩手二〇▲青森二四▲山形二七▲秋田一二一▲福井一〇七▲石川一〇一▲富山五五▲鳥取一一六▲岡山二四五▲廣島七九二▲山口一九一六▲和歌山一一二▲德島三五四▲島根一七〇▲香川一六五▲愛媛三四五▲高知四五一▲福岡九〇九▲大分九二〇▲佐賀三四三▲熊本五八六▲宮崎二九▲鹿兒島三五五▲北海道四二

新連絡驛

二十一日より九州筑豐線香月停車場に於て旅客貨物の連絡取扱をなす由

山林監守會同

京畿道にては南山、仁王山、北漢山、駱駝山、三角山、加平の各山林監守を召集し二十六二十七の兩日山林監守會同を道廳內會議室に開催することゝなり二十六日は午前十時より松永長官の訓示ありたり

土木建築請負研究會

京城在住の同業者にて組織せる土木建築請負研究會にては廿七日午後六時商業會議所樓上に例會を開催の由

人事消息

▲前田慶南警務部長▲服部慶北警務部長▲鳥野全南警務部長　二十七日朝退京の筈
▲木間咸北警務部長　二十八日朝退京の筈
▲前田利一氏(神戶貿易商)　二十六日朝退京
▲神林啓太郎氏(成興炭坑重役)　二十六日夜退京
▲ハーベー氏(英國商人)　二十六日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

露國怪僧ラスプーチン暗殺に就て少しく詳細な事が判つて來た▲時は客臘押し詰つた三十日の夜の午前三時▲舞臺はペトログラードのオフイツエルスカヤ街二十一番地富豪貴族スーボフ公スマロコフ、エリストン伯爵邸の大夜會の場▲而も此の大夜會は怪僧を謀殺する爲めに催されたので意味ある夜會であつた▲花の如き紳士淑女は雲を蹴つて此夜會に雲の如く集つた▲賑やかなオーケストラの響、蘭蝶の樣な踊躍、歡樂は何時盡くるとも知れぬ▲何人もが此の歡樂裡に恐るべき魔神が冷笑しつゝある事は夢にも知らなかつた▲夜會が漸く終らんとする時得意に其の長き髭を撫しつゝ横柄に構へて居たラスプーチンは突如貴族團に取り圍まれた▲而して之れで自殺せよと拳銃を渡された▲ちよつと本所松坂町吉良家の奧庭で大石良雄が之れは亡君御用付の御短刀と七首を吉良上野介の前に突き付けたかたちである▲ラスプーチンは言をも云はず受取ると矢庭に前面に立て居た有力な代議士を狙擊したが彈はそれて側に居た犬を斃した▲其れと見た某々大公は雙方から怪僧を射擊したので流石の怪僧も其儘絕息した▲恰度上野介が七首を受取る態を見せて良雄に斬り付け其場で打ち果されたと同樣だ▲而も上野介の家來の行爲が能くラスプーチンのやり方と似て居て其の最後の模樣迄もが似て居るから妙だ▲露西亞事情に通じて居ると大分面白い事が出て來さう

支那と蒙古經營
張奉天督軍の獻策

[illegible]に對する當面の大責任者たる張奉天督軍は對蒙政策に應心することを久しく蒙古王公の來奉ある毎に意見を聽して大に政府の注目を惹けり▲牧畜の奬勵　蒙人は元と牧畜を以て生業となすも資本缺き爲め發達せず可し人に貸與して其牧畜業を發達せしむ▲荒地の開墾　[illegible]しめ且つ內地銀行紙幣を擴充する爲め內蒙の要處なる昭烏達、科爾沁、卓索圖盟及び外蒙の恰克圖、車臣の四盟堤に[illegible]察の設けあらず故に地方時々不安の問題起る近來各國人士の內蒙に往來する者日に多きを加ふるに若し警察[illegible]ば之れを軍隊に編成する時は斷じて勁兵たる可きを疑はざるも唯だ其訓練の宜しきを得ざる爲め日に腐敗に[illegible]の任を全うするに於て卓効あるを疑はず

一色敎頭報恩會

仁川壽常[illegible]人となり報恩の爲め二十八日午後六時より八阪樓に於て同氏を招待し懇親會を催す由なるが當日出席者は[illegible]

國の勢力が南北より日に及ばしつゝあるを認め蒙地の保全及び開發策に就ては日夜研究を怠らず時に東蒙して左の如き積極的計畫を定め中央政府に條陳したるが元より何等の卓抜意見に非らざるも必須可能なと信じて流賊となること多く之れを放置する時は意外の大患を醸生す可きに就き宜しく資を調達して漸資の策は當分政府より補助す可し

▲金融の活動　蒙地の金融を活動せしむ可し

▲警察の創設　内蒙各處には未だ警察經驗ある警務員を内蒙に派遣す可し

▲騎兵の編練　蒙人は概ね強壯なれば有規律の軍隊となりて境域防守たるを以て同校卒業生を以て組織せる士官を派遣して其教練に心を盡さしむ

▲田米商　八千五百石……諮會員中村谷川平素名の諸氏發起

闇の中に緊と抱き合つて 船長室に籠つた人々

阪鶴丸生存者の遭難實記（二）

氷で滑々するブリッヂの梯子段を用心しながら又舊の材木を重ねてある蔭を犬匍ひになつて漸くのことで船長室に來ますと後から他の一人が又やつて來て死ぬなら何うせ一處に死なうと船長室の扉の引手を引いたが仲々開かない勿論風下の方ではあるが風上から打ち

◆被さる大浪の沫

が玉の氷となつて頭上から滲せ掛くるので必死となつてドアーを叩いたら辛うじて内から開いて中へ入ると既に三十餘人の船員らしい人や其他の船客又は支那人でギッシリ罐詰の如に詰まつて居る三人が入つて扉を鎖すと暫らくの中に又二三人

◆支那人らしい聲

で切りと金切り聲を出しながら風上の方の扉を叩くけれども開けたら最後小山のやうな大浪が室内に流れ込むので細帯で引手を縛り五六人で引張つて開かない様に防禦すると其中に誰かが「馬鹿な野郎だ風上の方の戸が開かれるかい」と

◆蓄音機みたいな

震ひ聲を出す其中にザブリと大浪が船室の外壁を激しく叩くと思ふと今先迄戸の外に居た支那人が浪に洗ひ去られでもしたのか細い哀れな語尾が消えて行くやうに

◆「老天爺」と微かに

耳に響く勿論私は支那語を知りませぬから老天爺より外解りませぬが船室内の日本人の五十近い女の南無阿彌陀佛の聲よりも室外に聞ゆる支那人の老天翁の方が何となく深い哀愁を感じました日は何時の間にかとつぷりと暮れて了ひました無論

◆室内は火も燈も

ない眞暗がりである船長初め一同は隣りの誰彼となく互ひに前後或は左右から固く抱き締めて僅かに體内の血液の暖味で凍死をせない許りでありましたが夜の更くるに從ふて漸次寒くなるその中に又五六人の支那人が

◆扉をドン〳〵と

叩く扉が開かないと見た彼の五六人は到頭死物狂ひになつて窓の金具を引抜いて窓硝子を滅茶々々に叩き壞したから堪りませぬ冷たい大浪は鹿柴を通り抜けた猛獸のやうに遠慮會釋もなく室内に侵入して來る其前から室内には既に深さ

◆二三寸の海水が

溜つてるので愈々以つて窓を塞がねば一同は濡れ鼠で氷の木乃伊とならねばならぬので大勢が乗ッかゝつてる卓子の抽斗を漸のことで抜出して布團を窓に當てゝ突張り漸くのことで浪の浸入を防いだが寒さは益々

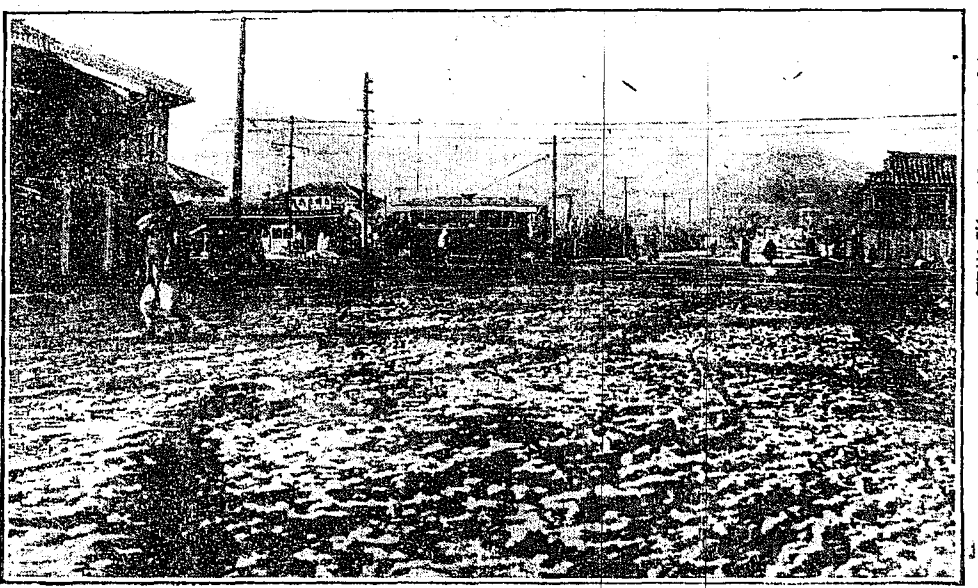
◆骨を抜き取られ

るやうに寒いその中に數回友人を呼び七八人先で返答するのは聞ゆたが夜の十時過頃でしたか何程呼んでも返事がありませんでした多分その時に友人も凍ゑ死をしたのでせうが如何することも可能ませんでした

鎭南浦に 大正公園

各公園の粹を聚めた大設備

鎭南浦に於ける御大典記念事業は殖林、記念碑建設、大正公園新設の三事業であるが第一の殖林は千七百圓を投じて鎭南浦府周圍の各山頂山腹に植樹を終り第二の記念碑は千四百圓を以て已に太神宮敷地に建設され



竣工近き清溪線道路

◇大規模の事業

とて早くも三箇年繼續事業となるべく府に於ては本年度の豫算にも費用の幾分を計上する筈である公園の位置は太神宮が中心となつて居るが公園敷地の總面積四萬三千坪の内約五千坪は六年生以上十七八年位の松樹繁茂し更に公園上に歩みを運べば市内一眸の下に在り眼下に

◇大同江の清流

を望み隣地の三和花園と相俟ち、眺望景致他に比を見ず更に園内の設備に至つては一萬圓の植樹三千圓の花圃九千五百圓の噴水築造費一千圓の公園入口設備千五百圓の亭、四阿屋、ベンチ、運動場其他がある、左に項を別けて

◇設計の大畧

を記して見ると記念門は公園入口に建設され左側は巡査派出所右側には公園管理所を置き更に道路は廿間幅として園内各園に通ずる岐道を敷設する事になつて居る植物園は吉野櫻を初め梅桃其他の草花を植ゑ尚ほ温室を造つて菊花其他の花卉を培養し運動場は園内記念碑側約五百坪を選して之を設けテニスコート其他の設備を爲し噴水は三和花園西側より湧出しつゝある清水を

◇鐵管にて引用

する事とたつて居る此外私設として喫茶店、賣店を設けて遊覽者を招き同屋、亭は料を集めて大公園の公休所に充てる計畫である動物園は公園の完成を待ち機を見て設置する筈であるが時機に依つては水族館をも併設する模樣もあるから上野公園と日比谷公園の形を則りたる上に大同江及び府市街の

◇眺望最も佳絶

であるから恐らく其雄大さは全鮮に冠たるものがあらう、工事は昨年から著手して本年は敷地買収の大半を終へ運動場の地均し大道路敷設等着々進行して居る（鎭南浦）

撃沈の實況を 活動寫眞に

兇暴なる獨逸通商破壞船

南米アルゼンタイン國ブエノスアイレスよりの報道に曰く獨逸通商破壞船に襲はれたる英船ラズノーシャ號の船長の語る所に據ればラ號は十月七日伯剌西爾ペルナムブーコ港を出發後二隻の獨逸通商破壞船に追跡せられ忽ちにして追附かれ二十六名の獨逸人ラ號に乗込み來り船を其手に收めたりラ號の船長は三隻の船舶の撃沈せらるゝを目撃したるが獨逸人は其撃沈の有様を活動寫眞に撮影しつゝありたりと（大阪特電）

零下四十七度

西比利の酷寒

西比利本年の寒氣は未曾有にしてイルクーツク市附近よりオムスク市若くは黒龍江沿岸にては汽車の汽罐の蒸氣喞が凍氷して危險を感じつゝあり多くの都市にては悉く學校の課業を中止せり或場所にありては零下四十七度といふ甚しきものありと

□心の糧

堀理作氏寄贈書 全鮮諸校に配布

京畿道高陽郡纛島面丁長堀理作氏が嘗に時局に感憤する餘りその粒々辛苦の貯金の中から金八十圓を割いて蘇峰學人の著『大正の青年と帝國の前途』百部を購入して本社を通じて可然頒布寄贈す可きことを託されたので本社は氏の篤志を徹底せしむ可く頒布先の調査を朝鮮教育研究會に委托して置いたところ同會は愼重なる調査の結果京城中學校（一部）、京城高等普通學校（一部）、京城高等女學校（一部）京城工業専門學校（一部）京城醫學専門學校（一部）京城高等普通學校（一部）平壌高等普通學校（一部）大邱高等普通學校（一部）、京城女子高等普通學校（一部）平壌中學校（二部）京畿道（八部）、釜山中學校（二部）平壌中學校（二部）京畿道八部、釜山中學校（二部）忠清北道（七部）忠清南道（六部）全羅北道（六部）全羅南道（六部）慶尚北道（六部）慶尚南道（六部）黄海道（六部）平安南道（七部）平安北道（六部）江原道（六部）咸鏡南道（六部）咸鏡北道（六分）を選定して配付送本し靑年子弟の修養に資することゝした各道からは其の管内の諸校に然る可く配付することゝならん

列車衝突椿事

車掌危篤

貨車三輛脱線

二十六日朝山陽線富田驛西部に於て午前九時三十分下關著特別急行列車と貨物列車と衝突せる事は既報の如くなるが其後の報告に依れば貨物列車は貨車三輛脱線し車掌佐藤芳一氏は人事不省に陥り生命危篤なりと（門司特電）

◎巡警 客馬車を襲ふ

馬賊に化けて

東豊西豊兩縣境なる楊木林子にて去る十九日東豊縣の巡警八名は通行の客馬車八臺に發砲して停車せしめ掠奪を行はんとせしに馬車夫は馬車を楯として之れに應戰し巡警四名を斃し尚ほ接戰中巡邏兵來合せ馬車夫に應援し残り四名を捕縛せるが折柄奉天への歸途通り合せたる東豊縣警務長が之を知り此問題を揉み消すべく西豊縣知事等に對し運動中なり（奉天）

◎詐欺賭博で 五百圓を捲上ぐ

京城三角町居住李敦和は一月一日公平洞の梁龍基（三一）と賭博をなし二百

餘圓の負けとなりたるより敦和は之れが復讐をなさんと慶雲洞鄭達源（四二）臥龍洞李舜應（三五）等を語らひ賭博に巧なる平壌上需里生れの天光杉（三一）京城茶屋町金炳雲（三）をして姜龍基と博奕をなさしめ詐欺的手段を弄して一月四日より二日間竹添町二丁目金高默方にて同人より金四百九十圓を捲揚げ前記の者等は外數箇所に於て何れも賭博を爲したることを鍾路警察署の刑事が探知し何れも昨日檢擧されたり

◎悪謀も出來心

平北昌城郡東倉面事務所小使陳龍瑞（三四）は昨年十二月十九日面長の命により同面私倉里商務組合より組合金八圓五十三錢を受取りて歸宅の途中酒幕にて一圓五十三錢の飲食をなし残金七圓は酩酊の爲め遺失したるより面長に申譯なしと俄かに悪心を起し歸宅の上同日午前十一時半頃昌城郡新面と新倉面との境界なる山道を通行中覆面したる一名の鮮人強盗現はれ小刀を突きつけて自分を脅迫

し所持の金員全部を强奪逃走せりと申立てたるより昌城憲兵分隊にては急報に依り各隊署に手配して犯人嚴探中なりしが此程に至り右は龍瑞の狂言なりしこと判明し同人は昌城分隊に引致目下取調中

◎檢事を欺かんとす

大膽なる少年

咸北鏡城郡龍城面元面長池東一長男張石（一七）は性來の怠惰ものにて良からぬ事のみを爲し居る所謂不良少年なるが昨年十月廿一日居洞の雜貨商朴庸洙方の床下より屋内に侵入し金品數十點のものを窃取したる事發覺し檢擧の上清津支廳檢事局に送られ來りしも當時未だ十六歳の未成年者の事とて懇々將來説諭の上起訴猶豫の恩典を與へ一面父池東一にも檢事が説諭し後來監督を嚴重にして再び斯る犯罪を爲さしめざる樣誓はしめしも改悛せず今回更に大膽にも龍城面書記東龍觀の文書を僞造して居洞の朴鳳石、朴三絲の兩人に關する告訴狀を僞造し檢事局に提出し檢事を欺かんとせし事端なくも發覺し過般來取調中なりしが此程清津支廳法廷にて窃盗及び文書僞造誣告にて懲役八月に言渡されたり（清津）

◎龍山の宵火事

一時は却々の騷ぎなりし

二十六日午後六時五十分頃龍山青葉町三丁目百二十一番李昌玉方の温突の破れ目より漏煙して發火したるより龍山憲兵分隊より憲兵及び新宿龍山の義勇消防組全部出動し京城よりは南大門常備消防隊水管自動車も驅付けて何れも消防に努めたるが隣家趙明雲方と共に二戸一棟に居住のことて昌玉方は温突七間明雲方は同五間を燒失（損害約百八十圓）して同七時四十五分頃鎭火せり人畜に死傷なかりしも薪隣商業學校の眞下なりし爲め一時は頗る混雜したり

◎壁に耳

慶北醴泉郡普門面鳥岩洞崔九山（三七）と云ふ女は同地の金華柄長男金斗容（二〇）と私通して大正五年八月一日男子を產み落し引取方を斗容の父に迫りしも世間の手前を憚つて聞き入れられず仕方なく斗容と二人にて夫婦になつて渡世せんと同郡山城洞に居住する内衣食に困り子供を養育することは到底覺束なきより相談の末同年十一月二十七日其の子供を殺し病死したりと稱して附近の墓地に埋葬し居たるを其筋に探知され取調べの末大邱地方法院に送られたり

◎盗人の上前を

慶北慶山郡珍良面内里洞金德基方に雇はれ居る金炳基（三二）と云ふは慶山郡珍良面上林洞宋範守（三七）が昨年十二月二日主人金德基の所有に係る籾六斗を盜むだのを嗅ぎ付け同人を威嚇して籾二石を出させ其れを賣り拂つて主人には前記宋が盗みたる籾六斗の代金のみを渡し其他は猫婆を極め込み居たる事發覺し大邱地方法院にて公判の結果笞九十に處せられたり

◎警戒網に掛る

木浦府竹洞居住井山岩吉（三八）は一定の職業なく昨年四月九日本町二丁目酒井松藏名義の印證を僞造し同時に酒井松藏の物品賣渡證書をも僞造し僞印を押捺して之れを大和町一丁目武田德治方に持參し酒井方より金策を依頼されたりと詐稱し武田より金十五圓を詐取して其の儘行衛不明となり居たる所舊臘末鮮人町附近を徘徊中警戒網に懸る（木浦）

◎鮮女の凍死

京畿道揚州郡眞乾面新月里朴興順方の庭先に十九日午前一時頃住所氏名不詳四十八歳位の乞食體の朝鮮女が一名行倒れ凍死し居るを家人が發見し所轄憲兵派遣所より憲兵出張檢視の上屍體は面事務所に引渡し假埋葬に附したり

△大正館　二十七日より新富館と交替▲實寫英國に於ける燐花製造の實況▲悲活劇テ君の最右全三卷▲探偵活劇死の道全三卷▲新派悲劇親れ菊全三卷▲滑稽海底目險旅行▲舊劇馬術の名人曲垣平九郎全三卷

△黄金館　二十五日より新富館と共替▲第五號亜第十篇二卷上場▲新派悲劇配所の月全二卷▲舊劇金忠輔にて影寫時間は實寫七ルヴォラ河（六時半より）▲同キッチー物語り（六時五十分より）▲舊劇金忠輔（七時より）▲實譚八時半より）▲新派悲劇配所の月（九時三十分より）

▲浪花館　東京落語柳派雷門助六一行は勝演以來喝采を博し居りしが愈々二十八日限り打ち上ぐる由

▲御成座　二十七日より新劇中村梅舟一座にて開演の筈

▲壽館　浪花節原嗡夢一行にて開演中

▲近頃仁川市中に仁義忠孝の宣傳者と言ふ樣な銘を打つて書物の賣付をする者が多くなつたが▲其の手段が頗る巧妙になつて面會を申込む時は豫備陸軍歩兵大佐と言つた樣な名刺を差出す▲一方では如何なる紳士が如何なる用向きで來たのかと胸をドキマギさせて居ると▲作の豫備大佐威儀堂々と小さな包みを抱へて來て▲挨拶が濟むとエー我々は日本主義普及の爲め同士相謀つて圖書刊行會を組織して▲道徳上有意な書籍を社會に提供しやうと思つて獻身的に東奔西走して居るのであります▲と來るので▲斯うした手際の忠孝主義宣傳に中毒して居る世の中の人はだが此んな事で献身的に働かないでも喰へ相な豫備大佐なら恩給丈でも喰へ相な者も宜かり相な者をと腹の中で思ひ乍ら仕方なく買ふさうだ

酸素療器

商標　オキシヘーラー

▽治病實驗例説明書贈呈△

▼オキシヘーラーは此効力の顯著なる事使用僅か五分間にして三乃至五〇〇の血液を活かす一時間を繼續すれば實に十乃至二十の酸素を増進す試みにリバロッキ氏血壓計に之のよりて驗なせば何人も明に計量せらるべし故に酸素吸入の病氣は其は健康狀態の元素を全身に溫暖補給し酸素の作用は以て其れ補給するときは血液の素を補給し呼吸を根治し疼痛を除き筋肉の作用を增し神經を強壯し體力を恢復せしむる

■特色　使用法の簡易　何等の費用を要せず

■貸料　一週間二圓五十錢

代理店募集す希望の方は御照會を乞ふ

■正價金參拾五圓

オキシヘーラー代理店　京城本町二丁目 酒井保全堂

移轉廣告

今般業務擴張の爲め左記へ移轉仕候也

小間物 化粧品

京城本町二丁目五九（小林支店跡）

中川小間物店

講談雜誌

奥州白浪娘　お松再會……（長講）悟道軒圓玉

猫（落語）柳家小三治　捧鱈（落語）金原亭馬生

尾上松助　吾妻與五郎（長講）小金井芦州

草枕戀旅杖……浪花冴一本

女房殺し……柴田南玉

二代目　金看板甚九郎……青山北六

大岡政談　寒紅……山村耕花

雜録　◇庸亭の娘　◇小ばなし

八百屋お七　……悟道軒圓玉

松山鏡（落語）……橘家喬之助

覺永三馬術（長講）……伯知

櫻川五郎藏（下）……松林伯円

大岡政談　居酒屋新兵衛……悟道軒圓玉

水野三郎　明神の祭禮（長講）……伯知

出世談

二月號出來　定價二十二錢　郵税一錢五厘

東京本郷　博文館　振替八〇一四

各種萬年筆即時修繕◎

新式機械と熟練せる職工により如何なる部分も即時修繕仕候定價送呈

京城旭町二丁目六番地　東京パイロット萬年筆出張所

第六拾五回　四千圓

十五本以下三千本の當籤樂しみある割増付一等

右御申込は第一回金四圓御送金になれば契約金額收證御送り致ます

〇外六十五回及債券一通なり多數毎月抽籤ある樣月賦御申込

十四圓　四通一組毎月二圓八十錢宛十五ヶ月賦

同十圓　五通一組毎月一圓六十錢宛二十ヶ月賦

右各種共第一回金御送金になれば直に有契約金額收證送ります

京城長谷川町五十八番地振替京城三五七五番

勸業貯蓄債券見物開屋日本勸業銀行債券月賦販賣所

禪林の六名著

釋宗演禪師　一喝禪

南天棒老師　座禪指南

蘆津實全師　禪窓閑話

釋宗活禪師　悟道の妙味

秋野孝道師　實驗禪

菅原時保師　禪窓閑話

定價各金九十錢　送料八錢

發賣　東京日本橋　大阪屋號

振替東京一三七五

曹洞宗管長　日置默仙禪師垂示

默仙禪話

口繪禪師自賛寺崎廣業畫像　洋裝布製函入美本　定價壹圓廿錢　送料八錢

心身を剛健にして活社會を雄飛せんとするの士、逆境に立て動ぜず順境に在りて虚なき底の心胸を練成せんとするの士、闊滑者の如き人格を造就せんとするの士、安心立命の核心に觸れ意義ある生存を欲求する士は禪門の第一人者默仙老師が最近の名著たる本書に問へ、吾人の欲する活作路は必ず授けられん、實に禪門稀有の名著なり

怒濤の月

六十一 小林蹴月作 武内桂舟畵

まがつみ『十二』の五

『お二人さん、お檢めで御座います。』

宿の主婦は、氣の毒さうに言つた。

『お檢めとは……?』

絹代には元より、幸三郎にもお檢めの意味が鳥渡解しかねたのであつた。けれども、何れの道、餘り感じの好い言葉ではないと思つた。

怖らしい男の眼は、異樣に光つた。そして、彼は、主婦の手に持つて居た宿帳の名前と、幸三郎等兩人の風俗年配を染々と比べ見るのであつたが、

『君が倉橋幸三郎と云ふ畫工さんですか。』

『然うです。職業は畫工です。』

『その絹代……さんと云ふ女は?』

『是は僕の妻です。』

『いや、細君ならば細君でも可いですが、牛込の矢來町に住宅がありながら、こんな所に夫婦で泊り込むと云ふのは、合點がゆかんですな。細君と云ふのは、嘘でせう。』

『嘘ではありません。實際の妻です。』

『では、什うしてこんな所に宿泊しとるんです?』

『……それには少し、家庭上の都合があつて、歸りにくい事になつとるもんですから……。』

幸三郎の辯疏は、可なり聞き苦しい程度にまで濁つた。

『なに、家庭上の事狀ですツてつ、それならばそれも先づ可いとして、元來此の女の人の風俗が普通でないですね。君の方は、平生著の儘と見ゆるが、ゆるぎんつく布子であるのに、女は友禪の長襦袢などを被て、加之に裝巻姿のやうに見受けられるのは、旁以て權衡を保たん事夥しいと云ふもんです。氣の毒ながら、本職は、眞正の夫婦と認める譯にゆかんですから、女だけを警察まで引致します。辯明があるなら、後から爲さい。』

折角春野の長閑さに遊んで、番胡蝶のうらけき歡樂を夢みんと爲つゝあつた二人は、楫を失つた飛行機の蓼地に谷間へ向つて逆轉したやうなものであつた。無論、斯る災厄に初めて出會した二人は、死の淵へ臨んだ人の如く、血の氣を失つて顫へ上つた。

『お職業柄かは知りませんが、精くもお調べにならんで、私の妻を引致なさるとは、不都合ではありませんか。』

『決して不都合な事はありません。本職の眼には、明かに高等淫賣婦と認むる丈の理由があつて、引致するんです。さツ、絹代さんとやら、同道なさい。』

風俗係りは、眦ら荒くしき猿臂を延べて、泣き顫ふ絹代を引立てやうと爲るのであつた。

『まア、お待ちになつて……妾どもは必ずそのやうな怪しい穢い人間では御座いません。』

『だから、證明が立つなら、警察へ行つてから、幾干でも爲さるが宜しい。』

泣いても怒つても、最早此の塲では絕對に仕樣がなかつたのである。或は花泉、刃、爵家の小間使でどもあると言つたら、多少嫌疑の疑ひを解くべき便宜となつたかも知れぬが、それを言ひ出した日には、後から來るべき難儀は、更に幾層倍であるかも知れない。幸三郎は、憤慨の淚と失望の淚を無理抑へに抑へた。

『絹さん、泣いとつても仕樣がありや爲ないよ。お前と僕とは、什うあつても、親々の約束通り、夫婦になるだけの因緣がないんだ。覺悟を極めて、警察へ引かれなさい。明日になれば、僕が又松崎君と相談の上で、お前が淫賣婦でない丈の證明を立てるやうに奔走して進げるよ。どんなに辛いところで、只ツた一夜の忍耐だからね。』

『……エツ、阿兄さん、妾は、警察へ行く辛さよりも、折角郎君に今夜のやうな難儀をお掛けしときながら積るお話も出來ない中に、又此の儘お別れして了ふのが、死の苦痛で御座います。』

『そりや僕だつて同樣だよ。神だか佛だか天道さまだか知らないが、まだ我々を苦め足らんので、故意にこんな目に遭はせるのに違ひないんだ。絹さん、どんな事があつても、決して、短氣な狹い心なんか出さんやうに爲とくれよ。可いかね、絹さん。』

刑事の面前をさへ忘れて、幸三郎は、絹代の手を把りながら言ひ含むるのであつた。

『時間が經つばかりだ、早く爲さい。』

風俗係りは、只さへも怖らしい面に、怖い／＼電を打たせて、到頭繊弱い絹代を幸三郎の側から生木を裂くやうに引き放して了つた。

齒科 橋本齒科醫院
南山町三丁目巴城館上電話二九二〇
齒科醫學士 橋本清次郎

□大田湖南吟社小集

羽子

羽根飛ひて車過ぎるに佇むり 待宵
河内屋押絵の羽子板抱く 同
負け羽子眼に入る雪を罪にとて 桃雨
追羽子や鈴下駄鳴らす庭廣し 春三女
春仙の似顏押絵や廓の羽子 中京
道羽子の袖から落ちし蜜柑哉 淡水
外れ羽子に柳の雪を拂ひけり 松年
羽子をつく富士への空よ 麥哉
追羽子に袖重もだけの禿哉 可祝
道羽子や女形も交る柳橋 風骨

松の内

松の内酒故に生く男なり 待宵
藪椿も干し得て盡る松の内 同
松の内なる波しつみかな 麥哉
紺香商車夫の威勢や松の内 雅溪
酒腹に貧相はなし松の内 桃雨
餅腹の食道樂や松の内 風骨
松の内別に招ずる女客 同

數の子

數の子や角打上戶の摘食ひ 青峰
酒弱ければ數の子の我が命 待宵
數の子に嗣子なき老の根哉 十市
數の子や代々つゝく荒鉢 西水
飲みさし猶ほ數の子に慾目あり 月波
數の子や膝寒き船の酒 桃雨
酒一壺數の子あるを奢り哉 同
數の子や酒豪の女媚ふる衒 いかり
屠數の子始めて味を噛み得たり 同
數の子の粒探る香齒を吸ふ 風骨

手毬

鞠唄の國いろ／＼の訛哉 青峰
荒鞠を犬戲り居る日うらゝ いかり
手鞠つく納屋閑に日太き 松年
絲五色綾にかゝりし懸手鞠 待宵
數讀みはつみに外れし手鞠哉 西水
鞠つくや守子廻ると子は泣けり 紅星
縮緬の長袖重もき手鞠哉 月波
庫裡の猫手鞠に立ちて鈴振り 同
小猫にも手鞠とて兒輪投をまゝ 淡水
旭に眠ふ元祿袖の手鞠哉 不倒
手袋の片手はつして手鞠つく 同
立膝の片手たくみに手鞠つく 風骨
千ついて手鞠に倦き捉かな 同

新刊紹介

△實業家處世訓(澁澤男爵一述) 澁澤男が數年來各種の新聞雜誌上に口述し又は講演せるものゝ中より商工業者の人格を向上し經國勞力主義を鼓吹し而して古來の妄を啓いて利用厚生と仁義道德とは一致して國家の富强を爲すべきものたるを唱道せるものを選擇し之を近時の大勢、時局感想、實業青年訓、實業家處世訓、我半生の處世の五綱に分ち氏一流の商業論語主義の大旨を敷衍して時勢を救濟し富國の根本義に訓ふるに努めたるもの好著たるを失はず(七十錢東京市日本橋區本町三博文館)

△極東時報(一〇) 日本と列强關納、ベルグソン氏へ、空中飛行、佛蘭西の農夫、佛國砲兵の威力、佛蘭西だより等(十八錢東京市京橋區築地明石町三二社)

△美術の日本(新年號) 印度佛蹟美術の探究『開谷洗濁』素人繪の趣味『平福百穗』名匠建築と自然美『濱田青陵』其他(十二錢東京市京橋區新肴町一三審美書院)

△新家庭(二月號) 煥社丹溫室咲の爐花谷のオフセツト刷を初め内外高官の家庭名家の令嬢文士と藝術家大觀大漱行子供宿土洋服其他約三十の寫眞を卷頭に記事には下田歌子の明倫和歌集讀翁等山本子の新らしい家庭を作つた當時の追懷等[illegible]

△講談落語娯樂世界(二月號) 伯知小さん貞水人與の覺語なる口繪を卷頭に伯知小さん貞水如燕其他一流の長講演に歴史實譚評館小説雜談等如例(二十五錢東京市日本橋區スキヤ町娯樂世界社)

△青年雜誌(二月號) 國事擔當の精神『小山東助』政黨思想普及の急務『高田博士』文部に對して『田川大吉郎』及全國各中學の花形縮士總論界便り殿女のさゝやき日本生活の想出其他(二十錢東京市牛込矢來町一共編輯局)

△國柱新聞(一六五) 八錢東京下谷區鶯谷師子王文庫發行部

△英語の日本(一〇ノ二) 十二錢東京市神田區表神保町三五英語の日本社

△隨鶴集(一四七) 二十五錢東京府千駄谷五二四共社

△新古書詩談叢(新年號) 舊山文晁和尚の御繪の表題其他の讚者の繪卷を卷頭に記事には印大領諭名家詩談瀋の批評其他を收む(二十一錢東京市麻布區北新門町三大來社)

△新子守歌 讀賣新聞社懸賞一等に當選せる清水都代子氏歌は桃色桃太郎歌に田田耕作氏の作曲せるもの新らしき湯山の桃太郎に健全なる成長の眼を與ふるにふさはしい(二十錢東京市京橋區銀座三ノ二十字屋)

△尚美堂時報(七三) 價不詳大阪市淀屋橋尚美堂

△フースヒー(三二) 五錢東京府下澁谷一二二北社

△大日本新聞(三二三) 五錢東京市麴町區有樂町一の四北社

△ゼ、ジヤパンタイムス、スチユーデント、エヂシヨン(六の二) 十二錢東京市麴町區内幸町共社

△小供之友(二月號) 十二錢東京府雜司谷上り屋敷一一四八婦人之友社

△幼年エバナシ(二月號) 八錢東京市牛込區甲良町二三東京出版社

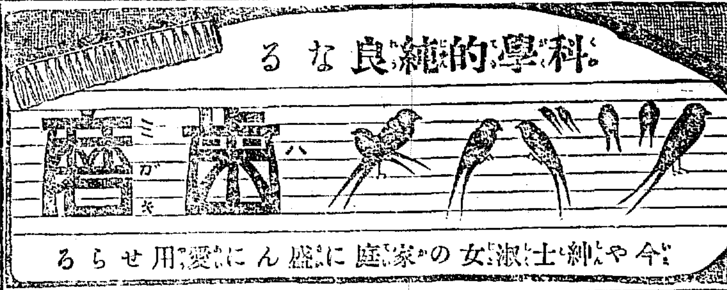
△婦人週報(三の二) 四錢五厘東京市牛込區市ヶ谷田町二の一七北社

△國柱新聞(一六四) 八錢五厘東京市下谷區櫻木町一師子王文庫

△少年(二月號) 破れ學校、少年射擊家、埋土の病少年、南京街の午後等如例少年諸君の世氣に入る事受合懸賞募集あり(十六錢東京市京橋區時事新報社)

△少女(二月號) 林、松村、石川、辻、矢部諸嬢其他の執筆に成り趣味な教訓とな兼れたる好雜誌(十六錢東京市京橋區南鍋町二の一二時事新報社)

科學的純良なる



今や紳士淑女の家庭に盛んに愛用せらる

比較は最良の選擇法なり!!
サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四一 八四 四五 九四番
振替京城五七番

山まゆ織
染色耐久價格低廉見本は御申越次第無料進呈仕候
廣島市平田屋町・振替東京一五五五 山脇喜久二商店

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

日印協會理事 副島八十六著 二好評如湧

帝國南進策

△印度南洋に於ける内外定期航路圖(印度南洋に關係ある内外二百六十餘の各航路)
△主要汽船會社名入港名約二百に達す)各種統計比較諸表十餘種挿入

四六版 三百五十頁 定價壹圓 郵税六錢

南へ! 南へ! 我が南…… 此間では南へ然れども何故に?——如何に! 之を説いて事實上に國民の腑腑に徹せしむるは無し。絢爛歌ふが如き詩人的評論や慷慨憤る如き志士的絶叫や少からずと雖ども眞に事實を基礎として一々數字の上に首肯せしむる我が副島八十六氏の本書の如きは空谷の跫音也著者は二十年前初めて渡南し、爾後南洋諸國の間を往來する三回、滯留前後六年、細さに其風土人情及び商工業を究めて帝國南進策を説く二十年一日の如し。我が南進論の卒先者たると同時に其貫徹を以て使命とし、現に日印協會理事の職に在つて印度南洋貿易の發展及び日印の國際的親善を計策するに維れ日も足らず。印度及び南洋を知り且紹介せんとするに於て唯の空疏的政論家又は書齋裡の學究と撰を異にす。卽ち本書の所説は書籍の死したる文字に由らずして盡く活き實際の事實に基づくもの、例へば本書の基礎とする統計の如き嘗に年鑑又は報告の數字を無定見無算籌に引寫しにしたるに非ずして一々事實に由て檢覈糾繆したる如き以て著者の用意の細密周到なるを知るべく、一行一句と雖とも二十年間の羅蒐造詣を以て綿密したる事實の結晶ならざるなし。今や未曾有の歐洲大戰爭は帝國貿易上に空前の天佑を與へ、獨逸が三十年間の勞力を以て築きたる東洋貿易の覇權を一朝にして取つて代らんとする時に方つて、一旦獲得したる今日の經濟上の位置を益々展進して再び失はざらんとする著者蒲腔の赤心勃々として禁ずる能はず、此一篇を捧げて遍く帝國々民を警醒奮起せしめんとす。

南へ! 何故に? 如何に? 帝國國是として國民が協力一致して嚮ふべき道は本書に由て明鏡物を照らすが如く明らかなるべし。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替東京一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料は ホーカー液
本品は畏くも宮内省御買上の光榮を有し衞生博にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、和洋小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり

◎返信務添へ照會あれ詳細回答す
百円進呈 りん病 ばいどく 諸病特製藥 合資會社 大阪ドラツグ商會
麻病藥主藥は治癒劑とし梅毒藥主藥は驅梅内服藥とし醫學上最有效と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せらるゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓進呈
●あらゆる治療を講ずるも効なき患者兒に角一度相談あれ
京城 大連青島其他到る處に似せ物 隆盛を羨み東京商會の偽物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田 取次販賣を御賞可被下候
振替京城四六七番電話長二五六七
京城南大門外 大阪ドラツグ商會

◎◎美人 男女〇〇寫眞(ルサツク)付縦五寸五分巾四寸五枚四十五錢(郵送料八錢)組八十錢 大阪市中之島二白美堂(切手一割增)

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 前六・一〇 一番 後二・一〇 二番
安東同 七・二〇 三・二〇
興海同 八・一〇 四・一〇
永川同 九・二〇 五・二〇
阿火同 一〇・二〇 六・二〇
大邱著 一一・二〇 七・二〇
下り 大邱發 前六・一〇 一番 後一・一〇 二番
河陽同 七・一〇 二・一〇
永川同 八・〇〇 三・〇〇
阿火同 九・二〇 四・二〇
安康同 一〇・二〇 五・二〇
浦項著 一一・二〇 六・二〇
浦項七番 電話二一七番 大塚農場自動車部 大邱出張所

金泉醴泉間自動車時間
上り 金泉發 前八・〇〇 一番 二番 後一・三〇
尙州發 前一〇・〇〇 後三・三〇
咸昌著 前一一・〇〇 後四・三〇
醴泉著 後一・〇〇 後六・三〇
下り 醴泉發 前八・〇〇 後一・三〇
咸昌發 前九・三〇 後三・〇〇
尙州發 前一〇・三〇 後四・〇〇
金泉著 後〇・三〇 後六・〇〇
△小荷物運搬も仕り候
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
三河丸 一月二十日正午出帆
相撲丸 二月十九日正午出帆
砂 丸 二月三十日正午出帆
○大連行、孝皇島行
仁川海岸町十一丁目電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大有丸 一月廿八日後四時出帆
秀吉丸 一月 日後四時出帆
君が代丸 一月 日後四時出帆
神代丸 一月三十日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第六共同丸 一月三十日午後入港 二月一日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候 大連にては南滿州鐵道連絡取扱仕候 本社船は大連にて阿波共同汽船株式會社
運賃は通し運賃にて取扱仕候
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路は各船在港日數不定に付き出帆日時は變更することあり
群山、木浦、大阪行 ○鎭南浦行 群州丸 一月廿八日午五時出帆
群山、木浦、釜山、馬山、神戶行 天草丸 一月廿九日正午出帆
油頭丸 二月八日後五時出帆
大智丸 二月十一日後五時出帆
○神戶、大阪行 安東丸 二月 日後五時出帆
木浦、釜山、馬山、長崎行 信濃川丸 二月四日正午出帆
信濃川丸 二月廿日正午出帆
群山、釜山、長崎行 淸南丸 二月 十一日後二時出帆
臺東丸 二月 日
大連行 信濃川丸 一月三十日正午出帆
信濃川丸 二月十六日正午出帆
大連直行 湖南丸 一月 日正午出帆
臺東丸 二月六日正午出帆
淸津行(元山出帆) 一城津、西湖津に寄港 浦潮不寄港
安平丸 二月三日後三時出帆
宮島丸 二月九日
△△△木浦、鎭南浦、長崎、神戶、大阪行
大信丸 二月 日
天智丸 一月二日正十二時出
上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 湖北丸 二月八日前六時出帆
基隆丸 一月三十日後四時出帆
御注意 新桟橋經由の鐵道便客は各一時間前迄に切符を購入なされ且つ切符は船内にては發賣致さず
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二一〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 立神丸 日後五時出帆
小倉丸 日後五時出帆
立神丸 日後十時出帆
元山、淸津、浦鹽行 日後四時出帆
小倉丸 日後六時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 每月二、八日十四日廿一日午後十時出帆
釜山港西町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
釜山發
全羅丸 二月四日
京城丸 二月十三日
貴州丸 二月九日
咸鏡丸 二月九日
北鮮丸 [illegible]
元山發
穩城丸 一月廿九日
昌平丸 一月廿六日
鏡城丸 二月二日
元山發
昌平丸 一月 日
釜山發
雄基丸 一月廿七日
釜山發
江陵丸 每日
釜山發
三江丸 一月廿八日
元山發
平安丸 一月 日
順天丸 三日目每に
木浦發
慶興丸 一月廿七日
木浦發
慶尙丸 一月廿六日
木浦發
公州丸 一月廿六日
仁川發
江原丸 一月廿九日
仁川發
晉州丸 一月廿七日
仁川發
錦江丸 每日午前
本社 京城 松原運送店(電話長一七〇番)

商況
大阪三品特電 大阪期米 [illegible] 仁川期米 [illegible]
▲依然底强し 前場下げ足り誘り先大阪の小甘さ [illegible] 市況は依然保合
▲中限大商内 後場同店より買ひ玉敷千石 [illegible]
▲現物界 [illegible]
三月限 四月限 五月限 [illegible]
一月限 一萬石 二月限 五萬四千六百五十石 三月限 七萬九千七百石
[illegible] を去る六日正午には龜井 [illegible] 山田方の不在を見濟まし女 持金側懐中時計 價格四十圓のものを同九日には午後三時頃月見町の [illegible]